

(様式第 10)

東北病医 第 458 号
平成 27 年 10 月 5 日

厚生労働大臣 塩崎 恭久 殿

東北大学病院長
八重樫 伸生 (印)

東北大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第の規定に基づき、平成 26 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒980-8577 仙台市青葉区片平 2 丁目 1 番 1 号
氏 名	国立大学法人 東北大学総長 里見 進

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

東北大学病院

3 所在の場所

〒980-8574 仙台市青葉区星陵町 1 番 1 号 電話(022)717-7000

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input checked="" type="checkbox"/> 1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜 <input type="checkbox"/> 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等 1 内科 2 腎臓・内分泌内科 3 血液内科 4 リウマチ科 5 糖尿病・代謝内科 6 漢方内科 7 腫瘍内科 8 循環器内科 9 感染症内科 10 老年内科 11 呼吸器内科 12 消化器内科 13 神経内科	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	(有) ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 1 肝臓・胆のう・膵臓外科 2 胃腸外科 3 移植・食道・血管外科 4 乳腺・内分泌外科 5 心臓血管外科 6 呼吸器外科 7 小児外科 8 小児腫瘍外科	
診療実績	

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科	②小児科	③整形外科	④脳神経外科	⑤皮膚科	⑥泌尿器科	⑦産婦人科
8産科	9婦人科	⑩眼科	⑪耳鼻咽喉科	⑫放射線科	13放射線診断科	
14放射線治療科	⑮麻酔科	⑯救急科				

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名 1 歯科 2 歯科口腔外科 3 小児歯科 4 矯正歯科	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 心療内科	2 形成外科	3 リハビリテーション科	4 病理診断科	5 頭頸部外科
--------	--------	--------------	---------	---------

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
40床	2床	床	床	1183床	1225床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成27年10月 1日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	389人	159人	538.8人	看護補助者	129人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	89人	75人	156.6人	理学療法士	24人	臨床検査技師	116人
薬 剤 師	91人	1人	91.5人	作業療法士	8人	衛生検査技師	3人
保 健 師	0人	0人	0人	視能訓練士	13人	その他	0人
助 産 師	57人	4人	59.3人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	1,142人	37人	1,167.3人	臨床工学士	23人	医療社会事業従事者	27人
准看護師	2人	0人	2人	栄 養 士	0人	その他の技術員	120人
歯科衛生士	7人	21人	26.8人	歯科技工士	9人	事務職員	434人
管理栄養士	15人	1人	16人	診療放射線技師	64人	その他の職員	136人

- (注) 1 申請前半年以内のある月の初めの日における員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成27年10月 1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	37人	眼科専門医	15人
外科専門医	83人	耳鼻咽喉科専門医	13人
精神科専門医	9人	放射線科専門医	23人
小児科専門医	33人	脳神経外科専門医	10人
皮膚科専門医	13人	整形外科専門医	13人
泌尿器科専門医	9人	麻酔科専門医	14人
産婦人科専門医	25人	救急科専門医	12人
		合 計	309人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合 計
1日当たり平均入院患者数	985.1人	27.5人	1,012.6人
1日当たり平均外来患者数	2,359.2人	637.7人	2,996.9人
1日当たり平均調剤数	1,288.6剤		
必要医師数	241人		
必要歯科医師数	23人		
必要薬剤師数	34人		
必要(准)看護師数	612人		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除し

た数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

9 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
			病床数	心電計	人工呼吸装置	心細動除去装置
集中治療室	621.39m ²	鉄筋コンクリート造	30床	有・無	有・無	有・無
			その他の救急発生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 407m ² [移動式の場合] 台数 0台		病床数	29床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 82m ² [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	705m ²		(主な設備)	生化学・免疫検査装置		
細菌検査室	342m ²		(主な設備)	クリーンベンチ		
病理検査室	348m ²		(主な設備)	安全キャビネット		
病理解剖室	112m ²		(主な設備)	解剖台		
研究室	6,838m ²		(主な設備)	顕微鏡		
講義室	526m ²		室数	3室	収容定員	460人
図書室	4,476m ²		室数	4室	蔵書数	41万冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

10 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成26年4月1日～平成27年3月31日	
紹介率	96.0%	逆紹介率	47.8%
算出根拠	A: 紹介患者の数		26,824人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		14,111人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,465人
	D: 初診の患者の数		29,462人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	3人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	0人
有床義歯補綴治療における総合的咬合・咀嚼機能検査	2人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法	4人
短腸症候群又は不可逆的な機能性小腸不全に対する脳死ドナーからの小腸移植	0人
短腸症候群又は不可逆的な機能性小腸不全に対する生体ドナーからの小腸部分移植	0人
急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定	3人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	肺癌患者検体の遺伝子変異検索に関する研究	取扱患者数	365人
当該医療技術の概要			
肺癌患者から採取した癌細胞の遺伝子変異(EGFRやEML4-ALK)を調べた上で適切な治療方針を決定している。			
医療技術名	大量出血を伴う手術の麻酔管理	取扱患者数	59人
当該医療技術の概要			
出血量5000ml以上の危機的出血に対し、麻酔科が主体となって、関連する検査部、輸血部と連携して患者を救命する。患者の生命が危機的状況にある場面においても、多数の麻酔科医を動員して緻密な麻酔管理を行うことにより、合併症を最小限に抑える。			
医療技術名	乳癌のHER2遺伝子増幅の有無に関するFISH検査	取扱患者数	64人
当該医療技術の概要			
乳癌組織(パラフィンブロック)を用いHER2遺伝子の増幅を調べる検査。免疫組織化学染色でHER2の発現を検索し、0、1+、2+、3+の4段階に分類。このうち、0、1+はHER2陰性と判断、3+は陽性と判断。2+のみ、FISH検査を追加し、HER2遺伝子の増幅を検索し、陽性、陰性に分類。免疫組織化学染色で2+のうち、FISHで陽性と判明するのは1/3、残りの2/3はFISH陰性(HER2陰性)と判定される。FISH検査は高額なため、まず、免疫組織化学染色で選別してから、3+のみをFISHの対象にしているが、これは、日本の乳癌診療ガイドライン、ASCOガイドラインなどで推奨されている手法である。			
医療技術名	骨軟部腫瘍、脳腫瘍に対するFISHによる悪性遺伝子検査	取扱患者数	14人
当該医療技術の概要			
骨軟部腫瘍においては、滑膜肉腫やユーイング肉腫など、遺伝子学的な検査が診断に必須なものがあり、診断確定の目的で行う検査である。また脳腫瘍に関しては、乏突起膠細胞腫における特異的な遺伝子変化が、組織診断の確定のみならず治療効果に関係しており、診断確定、治療方針の決定や予後予測のために必須な検査である。			
医療技術名	内視鏡的胆管結石除去術	取扱患者数	65人
当該医療技術の概要			
内視鏡的逆行性膵胆管造影(ERCP)に引き続き内視鏡的乳頭括約筋切開術(EST)を施行後、バスケットやバルーンで結石を除去する治療する方法で、ハイレベルな医療治療技術が必要である。			
医療技術名	体外衝撃波による膵石粉碎術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要			
ESWLを用いて膵石を破砕する治療法で、ハイレベルな医療治療技術の人的、物理的集積が必要である。			
医療技術名	内視鏡的粘膜切開剥離法	取扱患者数	180人
当該医療技術の概要			
早期食道癌および早期胃癌を内視鏡的に剥離、切除する治療法で、ハイレベルな医療治療技術の人的、物理的集積が必要である。			
医療技術名	高度進行肝細胞癌に対する集学的動注化学放射線療法	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要			
新規分子標的薬の使用を含め、総合的な治療技術の集積が必要である。			
医療技術名	肝癌に対するリアルタイムバーチャルソノグラフィ	取扱患者数	25人
当該医療技術の概要			
肝癌におけるCTと腹部超音波検査の画像をリアルタイムで同期可能な、当院で開発した検査法である。			
医療技術名	唇顎口蓋裂に対するチームアプローチによる集学的治療	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要			
唇顎口蓋裂に対するチームアプローチによる集学的治療を行っている。			

医療技術名	婦人科癌におけるセンチネルリンパ節同定	取扱患者数	13人
当該医療技術の概要			
新しい方法による医療で、外国で開発され、医学的効果が認められているが、日本では普遍化されていない医療。			
医療技術名	自家末梢血幹細胞移植術(採取・調整・保存)	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要			
患者循環血液量の2倍の血液を一定の速度で連続的に体外循環させ、造血幹細胞分画を採取したあと、輸血部細胞プロセッシングセンターにおいて調製、凍結保存し、移植日まで超低温フリーザー内で保管管理する。			
医療技術名	自家末梢血幹細胞移植術(分離・調整・保存)	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要			
G-CSF投与により末梢血幹細胞を動員採取した細胞を分離し、凍結保存する。			
医療技術名	前立腺癌に対する強度変調放射線療法(IMRT)	取扱患者数	28人
当該医療技術の概要			
強度変調放射線を用いることで自由度の高い放射線線量分布を達成し、直腸・尿道など前立腺周囲重要臓器の被ばく線量低減を図りながら腫瘍線量を増加することで、進行前立腺癌の治療成績を向上させる放射線療法。			
医療技術名	遠隔病理診断(テレパソロジー)	取扱患者数	86人
当該医療技術の概要			
テレパソロジー(遠隔病理診断)は地方の病院から遠隔操作により病理画像を伝送し、病理診断を行う遠隔医療の一つである。これにより、病理医が不在の病院における術中迅速診断を可能とし、病理医不足と偏在を補うとともに、地域病院の医療の質の向上、地域医療への貢献に寄与するものである。			
医療技術名	狭心症に対する体外衝撃波治療法	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
低出力の体外衝撃波を用いた血管新生療法。心筋血流と狭心症症状の軽減を目的とする。			
医療技術名	急性心筋梗塞に対する体外衝撃波治療法	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
低出力の体外衝撃波を用いた血管新生療法。心筋梗塞慢性期の心不全増悪抑制を目的とする。			
医療技術名	下肢閉塞性動脈硬化症に対する体外衝撃波治療法	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要			
体外衝撃波発生装置を用いて下腿の虚血部位の筋肉に対し、0.05mJ/mm ² 程度の衝撃波を照射します。照射は1回8000発の照射を週に3回、3週連続で行っています。9回の照射で合計72000発を照射しています。両名とも歩行距離の延長が見られ、治療に付随する合併症もなく経過観察期間を終了しています。			
医療技術名	放射免疫療法	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要			
抗CD20モノクローナル抗体に、放射性同位元素 ⁹⁰ Yを結合。抗体の体内分布が適切な患者に投与する。			
医療技術名	同種造血幹細胞移植	取扱患者数	39人
当該医療技術の概要			
同種、血縁、非血縁の骨髄幹細胞、末梢血幹細胞を、前処置後に投与する。			
医療技術名	同種末梢血幹細胞移植術(分離・調整・保存)	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要			
ドナー循環血液量の2倍の血液を一定の速度で連続的に体外循環させ、造血幹細胞分画を採取したあと、輸血部細胞プロセッシングセンターにおいて調製、凍結保存し、移植日まで超低温フリーザー内で保管管理する。			
医療技術名	腹式広汎性子宮頸部摘出術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
浸潤子宮頸癌症例に対する子宮温存術式。ハイレベルの総合医療技術及び資源(人的、物的)の集積を必要とするもの。			

医療技術名	人工内耳埋め込み術	取扱患者数	19人
当該医療技術の概要			
高度難聴者の聴覚再獲得のために、人工内耳埋め込み術と聴覚のリハビリテーションを行っている。			
医療技術名	血液型不適合骨髄移植(赤血球除去)	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要			
ABO・Rh(D)血液型主不適合骨髄移植の際に、ドナー由来赤血球溶血反応を回避する目的で、移植前の骨髄からアフエレーシス装置により、赤血球を除去する操作である。			
医療技術名	病的肥満症に対する腹腔鏡下袖状胃切除術	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要			
病的肥満症は様々な併存疾患を有し、生命予後を短縮させることが分かっている。内科的治療ではリバウンドが多く欧米では外科的な減量手術(胃の縮小を伴う手術)が一般的である。我が国では施行施設が少なくまだまだ一般的ではない。			
医療技術名	稀少遺伝子疾患の遺伝子診断と遺伝カウンセリング	取扱患者数	27人
当該医療技術の概要			
稀少遺伝子疾患に対して遺伝カウンセリングを施行し、遺伝子解析を実施する。			
医療技術名	末梢血幹細胞採取における造血幹細胞の定量	取扱患者数	19人
当該医療技術の概要			
自家または同種末梢血幹細胞採取の適否を判断するために、術前に末梢血CD34陽性細胞数を定量する。さらに移植に十分な造血幹細胞が得られているかどうかを判断するために、採取産物中に含まれるCD34陽性細胞数を定量する。			
医療技術名	上咽頭癌に対する化学療法併用した強度変調放射線療法(IMRT)	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要			
長期予後の望める上咽頭癌に強度変調放射線療法を導入することで、視神経や脳幹、耳下腺などQOLに関連する部位への照射線量を抑えつつ、病巣への線量を担保する治療法。			
医療技術名	重症急性膵炎による感染性壊死に対する内視鏡的壊死物質除去術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要			
近年NOTESの手技を応用し、経胃的に感染性壊死の部位に直接内視鏡を挿入し壊死物質を取り除く方法が試みられ、良好な成績が得られている。			
医療技術名	ドップラー血流評価と蛍光血流評価を併用した先進的食道再建術	取扱患者数	61人
当該医療技術の概要			
食道切除後の消化管再建術は、腹部消化管である胃、結腸を頸部まで挙上し吻合する高度な技術であるが、その成否は再建臓器の血流状態によるところが大きい。これを客観的データでとらえるために、ドップラー血流計を用いた血流絶対量の評価と、ICG蛍光カメラによるリアルタイムな視覚的血流評価を併用し、再建臓器の吻合最適部位を決定、安全で確実な消化管再建を実施している。			
医療技術名	腹臥位胸腔鏡下食道切除術	取扱患者数	48人
当該医療技術の概要			
胸腔鏡下食道切除術は従来側臥位で行われてきたが、腹臥位にすることにより、肺・心圧排操作の回避、より緻密なリンパ節郭清、副損傷の回避が可能となる。この術式ははまだ一般的ではなく、熟練食道外科医と麻酔科医の連携によって行われる高度な手術である。			
医療技術名	摂食嚥下発音リハビリテーション	取扱患者数	143人
当該医療技術の概要			
口腔・咽頭部を外科的に治療および放射線療法した場合、組織欠損や癒痕形成、疼痛、乾燥、味覚障害等により、摂食・嚥下・発音障害が生じる。これら術後患者に対する歯科補綴的アプローチ、すなわち口腔内に歯科補綴装置(PAP,PLP,顎義歯)を用いた摂食・嚥下・発音リハビリテーションをおこなっている。			
医療技術名	成人症例におけるインプラントアンカーを用いた矯正歯科治療法	取扱患者数	184人
当該医療技術の概要			
従来の矯正歯科治療と比較し、インプラントアンカーを歯の移動の固定源として用いることにより、患者様の協力を必要とせず、歯の移動を効率的かつ効果的に行うことが可能となる。それにより、患者様の負担軽減、治療期間の短縮を図ることができる。さらに、短期間でより多くの歯の移動は可能となる為、外科的手術を避けることも可能となる。			

医療技術名	成長期症例におけるインプラントアンカーを用いた矯正歯科治療法	取扱患者数	19人
当該医療技術の概要 骨格的な改善が必要な成長期症例(例:下顎前突)において、従来の矯正歯科治療では複雑な装置が必要であり、夜間のみの使用となり、患者様の協力が得られにくく、効果的な骨格の改善を得ることが少なかった。しかし、インプラントアンカーを用いることにより、患者様の協力が得られやすく、24時間用いることができ、それにより将来外科的手術を回避できることが可能となる。			
医療技術名	リンガルブラケット装置を用いた矯正歯科治療	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 日本人の多くは審美的な原因により、矯正歯科治療を避ける傾向がある。しかし、舌側(裏側)に矯正装置(ブラケット)を装着することにより、矯正装置が全く見えなく治療を行うことができる。現在では違和感も少なく、インプラントアンカーを併用することにより、従来の唇側に装着される装置と比較しても治療結果がほとんど差がなく治療を行えるようになった。			
医療技術名	全身麻酔下歯科治療	取扱患者数	208人
当該医療技術の概要 歯科治療恐怖症、嘔吐反射が著しい患者等、障害者等、通常の方法では歯科治療を受容できない患者に対し、全身麻酔下での歯科治療を行うものである。			
医療技術名	頭頸部がんに対するチームアプローチによる集学的治療	取扱患者数	320人
当該医療技術の概要 頭頸部がんの手術、化学療法、ならびに放射線治療前後の口腔ケア、義歯の作成、開口訓練、摂食・嚥下指導を行い、口腔の機能回復を図る治療			
医療技術名	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	取扱患者数	69人
当該医療技術の概要 大腸における早期癌又は腺腫を内視鏡的に剥離、切除する治療法で、ハイレベルな医療治療技術の人的、物理的集積が必要である。			
医療技術名	切除可能胆管癌に対する術前化学放射線療法	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 切除可能胆管癌に対して、手術前に化学放射線療法を施行した後、根治切除を行うことで、根治切除率を向上させることができる。放射線科医と肝胆膵外科医の協同で行う、ハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とするもの。			
医療技術名	切除可能膵癌に対する術前化学療法	取扱患者数	12人
当該医療技術の概要 切除可能膵癌に対する標準治療戦略は手術先行であるが、手術時既に存在すると考えられる不顕性の転移病変に対して、全身状態の良い手術前に全身化学療法を行った後に切除を行う治療戦略。切除率の向上、生存期間の延長が期待できる。ハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とするもの。			
医療技術名	進行・再発直腸癌に対する手術前化学放射線療法	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 直腸癌に対する化学放射線療法は本邦ではコンセンサスが得られていないが、米国では標準治療の一部となっている。手術の根治性を高め、予後を改善する可能性が期待される。放射線科医と胃腸外科医の協同で行う、ハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とするもの。			
医療技術名	切除不能膵癌に対する化学療法・化学放射線療法後のサルベージ手術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 切除不能と診断される膵癌に対して、一定期間治療が奏功した後に、切除を行う。化学療法・化学放射線療法のみで治療を行うよりも生存期間の延長や長期生存が得られる可能性が高まる。放射線科医と肝胆膵外科医の協同で行う、ハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とするもの。			
医療技術名	ロボット補助下胸腔鏡下食道切除術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 内視鏡手術ロボット(ダヴィンチサージカルシステム)は3D画像、自由度の高い関節による鉗子操作、手振れがないなど従来の内視鏡手術操作にはない利点がある。これを導入した胸腔鏡下食道切除、リンパ節郭清術は、緻密な操作が求められる本術式において、より確実な郭清と副損傷予防、合併症軽減、予後改善に寄与するものと考えられる。			

医療技術名	頭頸部癌に対する密封小線源治療	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 口唇、舌、口腔など頭頸部の早期癌に対して、Au198が密封された小さなシードといわれる線源を局所麻酔下で永久刺入する治療を行っている。手術に比べ機能、形態温存に優れ、体外照射に比べて有害事象が軽度に抑えられる利点がある。			
医療技術名	甲状腺癌に対するI-131内用療法	取扱患者数	70人
当該医療技術の概要 甲状腺分化癌にヨードが取り込まれるという性質を利用した組織内照射で、分化型甲状腺がんの転移病巣や腫瘍床の残存病変に対する治療として行われている。多発転移病変に対する腫瘍制御の治療としては数少ない手段である。			
医療技術名	産後出血による経皮的塞栓術	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 出産後の予期せぬ出血に対し開腹することなく低侵襲で経皮的、経カテーテル的に出血減となる血管を同定し塞栓する治療。			
医療技術名	持続血液透析濾過	取扱患者数	143人
当該医療技術の概要 急性腎不全の重症例や全身状態の悪い症例に対して行われる血液浄化法で、血液透析濾過を24時間持続的に行う。少量ずつ透析を持続的に行うため、全身状態に与える影響が少なく、血管外物質の除去効率が高い。			
医療技術名	血漿交換	取扱患者数	45人
当該医療技術の概要 血液を血漿分離器で血球成分と血漿成分に分離した後に、病気の原因物質を含む血漿を廃棄して、それと同じ量の健常な方の血漿(新鮮凍結血漿)、もしくはアルブミン製剤を入れて置き換える治療法。劇症肝炎、肝不全、血栓性血小板減少性紫斑病、ステロイドや免疫抑制剤の治療効果が少ない活動性の強い膠原病(全身性紅斑性エリトマトーデスなど)などが適応となる。			
医療技術名	エンドトキシン吸着	取扱患者数	25人
当該医療技術の概要 エンドトキシン血症に伴う重症病態の改善のため、エンドトキシンを選択的に吸着除去する吸着型浄化器(トレミキシン)を用いた血液浄化療法。			
医療技術名	経皮的心肺補助(PCPS)	取扱患者数	35人
当該医療技術の概要 緊急心蘇生や重症心不全に対する循環補助が適応となる。大腿静脈から遠心ポンプにより脱血した静脈血を、膜型人工肺を用いて酸素化し動脈血として大腿動脈に送血閉鎖回路による補助循環である。			
医療技術名	体外膜型酸素化装置	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 ARDSや重症肺炎(細菌性、ウイルス性)、肺外傷などの、低酸素血症や高二酸化炭素血症の重症呼吸不全が適応となる。大腿静脈から遠心ポンプにより脱血した静脈血を膜型人工肺を用いて酸素化し、中心静脈に返す補助循環である。長期体外循環による呼吸補助を行うことにより、生体肺を休ませ、肺の回復を待つ治療法である。			
医療技術名	院外心肺停止患者の蘇生後脳症に対する脳低温療法	取扱患者数	24人
当該医療技術の概要 院外心肺停止で搬送される患者さんが蘇生に成功した際、ただちに体温を34度まで下げて24時間維持するもの。低酸素に暴露された脳のダメージを最小限にできることが期待され、心肺蘇生の国際的ガイドラインでもそのエビデンスが支持されている。			
医療技術名	腹部コンパートメント症候群に対するOpen Abdominal Management	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 緊急開腹手術を要する患者さんのうち、一期的な閉腹により術後管理に困難が予想される症例に対してはOpen Abdominal Managementによる段階的閉腹を心がけている。1週間以上の集中治療管理を要するためにきめの細かい管理を要する。			
医療技術名	一酸化炭素中毒患者に対する高圧酸素療法	取扱患者数	11人
当該医療技術の概要 第2種高圧酸素治療装置を用いて、一酸化炭素中毒発症後24時間で3回以内の治療を行うことで、遅発性脳症の発症抑制が期待される。			

医療技術名	エピテーゼによる顔面部欠損の補綴	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 顔面形成術では回復困難な顔面部に生じた欠損に対して、エピテーゼを適応することによって欠損部の修復を行い、審美・機能回復を図る。			
医療技術名	インプラントを用いた顎義歯治療	取扱患者数	11人
当該医療技術の概要 顎骨部、顔面部に大幅な実質欠損を有する顎欠損症例において、インプラントを併用することで義歯の維持、安定の向上を図る。			
医療技術名	生体部分肝移植における顕微鏡下胆道再建術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 顕微鏡下手術(マイクロサージャリー)は微小血管再建に極めて有用な機器である。これを生体部分肝移植における微小胆管再建に導入することで、胆道合併症軽減(リーク、狭窄軽減)に寄与すると考えられる。			
医療技術名	前立腺癌に対するI-125密封小線源治療	取扱患者数	27人
当該医療技術の概要 低リスク前立腺癌に対して、I-125密封小線源を前立腺局所に挿入、留置する治療を行っている。手術に比べ機能温存に優れ、有害事象が軽度に抑えられる。			
医療技術名	覚醒下脳外科手術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 脳に存在する機能野(言語野、運動野)を手術中に同定するために、患者を覚醒させ手術をおこなう技術。脳神経外科医の他に、神経麻酔医、脳波技師、高次脳機能学を専門とする医師の参加が必要となる。			
医療技術名	末期重症心不全患者に対する集学的外科治療	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 内科的薬物療法では救命できない重症心不全の患者さんに対し、植込型補助人工心臓装着(認定施設限定)、及び脳死ドナーからの心臓移植(認定施設/東北地方唯一)を含めた集学的外科治療を行う。			
医療技術名	胸腹部大動脈瘤手術時における多角的な脊髄保護療法	取扱患者数	17人
当該医療技術の概要 胸腹部大動脈瘤手術の際の重篤な合併症である脊髄梗塞による対麻痺を予防するために、術前の脊髄灌流動脈の同定、脳脊髄液ドレナージ、硬膜外腔冷却、選択的肋間動脈灌流など多角的治療を行う。			
医療技術名	感染性心臓大血管疾患に対する凍結保存ホモグラフトを用いた外科治療	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 通常的人工血管人工弁を使用する従来の方法では、根治困難な感染性心臓大血管疾患(感染性心内膜炎、感染性大動脈瘤、人工弁感染、人工血管感染など)に対し、凍結保存ホモグラフト(同種組織移植)を用いて置換を行う。			
医療技術名	成人先天性心疾患に対する集学的治療	取扱患者数	200人
当該医療技術の概要 成人期に達した先天性心疾患患者の治療を小児循環器科医、成人循環器内科医、心臓血管外科医、さらには放射線科医、産婦人科医と協働で治療にあたり、先天性心疾患患者の長期予後の改善とQOLの改善を図る。			
医療技術名	狭心症に対する超音波治療	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 低出力パルス超音波を用いた血管新生療法。狭心症症状と心筋血流の改善を目的とする。			
医療技術名	鏡視下食道癌手術における神経刺激装置を用いた術中リアルタイム反回神経の同定と温存	取扱患者数	40人
当該医療技術の概要 食道癌手術の合併症のひとつに反回神経麻痺があり、術後の嘔声、誤嚥の原因となる胸腔鏡下食道切除術において術中リアルタイムに反回神経を刺激装置NIMで同定し、確実な温存と麻痺を回避するもの。			

医療技術名	高度肝障害患者に対する完全腹腔鏡下肝切除	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要			
高度肝障害患者及び肝硬変患者の開腹手術は術後の腹水増加・コントロールに難渋するケースがしばしばある。完全腹腔鏡下肝切除は腹腔内圧を解放せずに手術が可能のため、術後早期回復に有用である。			
医療技術名	肺胞蛋白症に対する全身麻酔下全肺洗浄療法	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要			
進行した肺胞蛋白症に対する治療としての全肺洗浄を麻酔科、ときに心臓血管外科と共同で体外循環実施下で行う。この治療により、肺胞への沈着物を除去することが可能であり、呼吸不全の改善を図る。			
医療技術名	自己免疫性肺胞蛋白症に対するGM-CSF吸入療法	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要			
自己免疫性肺胞蛋白症の進行予防および病態改善を目的としてGM-CSF吸入療法を実施している。吸入用GM-CSF製剤は海外より入手して行っている。			
医療技術名	アルドステロン産生副腎腺腫に対するCTガイド下経皮的ラジオ波焼灼術(Ⅱ)	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要			
CTガイド下に、RF(ラジオ波)アブレーション針にて副腎のアルドステロン産生腺腫を焼灼し、高アルドステロン血症と高血圧の低侵襲的根治療を行う。			
医療技術名	心臓大血管の仮性動脈瘤に対する経カテーテル的塞栓術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要			
心大血管に生じた仮性動脈瘤に対し、カテーテルを用いて選択的にコイル塞栓術を行い、低侵襲的根治療を行う。			
医療技術名	頭頸部がんに対する超選択的動注療法	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
口唇、舌、口腔、咽頭、鼻腔、副鼻腔などの頭頸部がんに対して、カテーテルを用いて複数の栄養動脈をそれぞれ選択し、抗がん剤を注入することで腫瘍の縮小を図る低侵襲性治療法である。放射線科医と耳鼻咽喉科医の協同で行う、ハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とするもの。			
医療技術名	原発性アルドステロン症に対するγ副腎静脈分支採血法	取扱患者数	63人
当該医療技術の概要			
副腎静脈サンプリングは、原発性アルドステロン症の術前局在診断法として必須とされている。カテーテル技術を応用した副腎静脈分支からのサンプリングでは、従来の副腎中心静脈のみからのサンプリングで鑑別できなかった、両側性特発性副腎過形成と手術で根治する可能性のある両側性アルドステロン産生腺腫を鑑別可能であり、原発性アルドステロン症治療成績向上に寄与する検査法である。放射線科医と内分泌内科医が協同で行う、ハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とするもの。			
医療技術名	ドナーリンパ球輸注(採取・調整・保存)	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
同種造血幹細胞移植患者の再発やウイルス感染に対し、移植ドナーの血液を連続的に体外循環してリンパ球分画を採取する(骨髄バンクでは100ml/ドナー体重(kg)を処理量上限と定めている)。漸増投与を行う場合は、CD3陽性Tリンパ球をカウントして患者体重あたりの細胞数で分割し、同日投与分以外は凍結保存する。			
医療技術名	Convection-enhanced delivery (CED)による悪性脳腫瘍の治療	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要			
再発悪性脳腫瘍および外科的治療が困難な脳幹部悪性脳腫瘍に対して、定位的に挿入したカテーテルから抗癌剤を持続陽圧下に脳細胞間隙に局所注入し、高濃度かつ広範囲の薬剤分布を得る新規薬剤投与法。高度の医療技術を要し、開発途上にある医療である。			
医療技術名	難治てんかんに対する集学的外科治療	取扱患者数	35人
当該医療技術の概要			
乳幼児から成人までてんかん科医師、小児科医、高次脳機能障害科医師、放射線診断科医、精神科医、生理検査技師、臨床心理士と協働で、外科治療の適応判断と治療を行い、長期予後とQOLの改善を図る。東北地方においては本学のみが提供している医療である。乳幼児については、遠隔医療システムによる連携で北海道地域の医師と協働で治療を提供している。			

医療技術名	経静脈的患者自己調節鎮痛法(PCA)による術後疼痛管理	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要			
電動式PCAポンプを用いて、術後痛を感じたときに患者自身が鎮痛薬を安全に投与する方法。			
医療技術名	血液吸着(エンドトキシン以外)	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要			
血液を吸着カラムに通し、病気の活動性の元となる液性成分(エンドトキシンやビリルビン)を除去する。これは主に急性期の生命の危機がある状況を改善すべく行われる。また、病因が必ずしもはっきりしていない慢性かつ難治性の疾患において、疾患活動性を発揮するリンパ球や好中球を除去するカラムで血液を浄化する治療法である。			
医療技術名	全血漿交換(新鮮凍結血漿で置換) 二重濾過プラスマフェレーシス(血漿製剤で置換)	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要			
原因物質を含む血漿を廃棄して、それと同じ量の健常な方の血漿(新鮮凍結血漿)、もしくはアルブミン製剤を入れて置き換える治療法。前者は大量の新鮮凍結血漿を用いるため輸血に関連する感染事故のリスクがある。後者はフィブリノーゲンの減少などが生じるなど、総合的な治療管理の資源を要する治療である。対象は神経疾患、天疱瘡、膠原病の難治性病態を呈する各種の内科疾患、および外科系では肝不全が対象となっている。			
医療技術名	腹水濾過濃縮再静注	取扱患者数	31人
当該医療技術の概要			
がん性腹膜炎、肝硬変、など腹水が大量に貯留し、難治性となる疾患は多岐にわたる。腹水にはがんや肝硬変に関連する細胞成分や液性因子が含まれている。この腹水を数リットル(3-7L程度)体外に抜き出し、無菌的に特殊なフィルターを通して濾過濃縮して可及的に生体に有害なサイトカインや細胞成分を除き、経静脈投与可能な質を担保し、元の患者に点滴再静注する治療法である。患者の腹満感の軽減、血漿製剤ではない自己の蛋白を再利用できる点で優れているが、濃縮工程や安全管理に高度な技術を要する治療である。			
医療技術名	悪性黒色腫およびその他の皮膚癌におけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	取扱患者数	18人
当該医療技術の概要			
腫瘍周囲の皮下に tracer を投与し、リンパ流によって移動した tracer で標識されたリンパ節を同定して転移の検索を行う。リンパ行性微小転移の同定に有用な方法で有り、病期判定と治療方針の決定に有用である。地域では東北大学が主たる技術提供施設である。			
医療技術名	経静脈的ステロイドパルス療法による円形脱毛症治療	取扱患者数	80人
当該医療技術の概要			
自己免疫性・炎症性反応に起因する脱毛性疾患に対する治療法である。特に急速進行の多発型、全頭型、全身型の脱毛症に適応となる。ステロイドパルス療法が脱毛性疾患に対して医学的効果を有することが海外を含めて報告されているが、日本では普遍化されていない医療。適応疾患の選択や治療時期の判定など、医療治療技術の人的・物理的集積が必要である。			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	138人	・膿疱性乾癬	9人
・多発性硬化症	281人	・広範脊柱管狭窄症	10人
・重症筋無力症	116人	・原発性胆汁性肝硬変	91人
・全身性エリテマトーデス	456人	・重症急性膵炎	9人
・スモン	3人	・特発性大腿骨頭壊死症	69人
・再生不良性貧血	53人	・混合性結合組織病	58人
・サルコイドーシス	333人	・原発性免疫不全症候群	25人
・筋萎縮性側索硬化症	53人	・特発性間質性肺炎	40人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	248人	・網膜色素変性症	52人
・特発性血小板減少性紫斑病	103人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	61人	・肺動脈性肺高血圧症	64人
・潰瘍性大腸炎	419人	・神経線維腫症	54人
・大動脈炎症候群	93人	・亜急性硬化性全脳炎	2人
・ビュルガー病	30人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	3人
・天疱瘡	32人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	40人
・脊髄小脳変性症	114人	・ライソゾーム病	10人
・クローン病	310人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	5人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	2人
・悪性関節リウマチ	14人	・脊髄性筋萎縮症	3人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	231人	・球脊髄性筋萎縮症	7人
・アミロイドーシス	3人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	30人
・後縦靭帯骨化症	46人	・肥大型心筋症	17人
・ハンチントン病	3人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	162人	・ミトコンドリア病	7人
・ウェゲナー肉芽腫症	19人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	15人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	160人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	2人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	31人	・黄色靭帯骨化症	2人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	202人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・ハイリスク妊娠管理加算
・歯科外来診療環境体制加算	・ハイリスク分娩管理加算
・歯科診療特別対応連携加算	・退院調整加算
・特定機能病院入院基本料(一般病棟 7対1)	・新生児特定集中治療室退院調整加算 1、2、3
・特定機能病院入院基本料(精神病棟 13対1)	・救急搬送患者地域連携紹介加算
・臨床研修病院入院診療加算(基幹型)	・総合評価加算
・臨床研修病院入院診療加算(管理型)(歯科)	・データ提出加算 2
・救急医療管理加算	・救命救急入院料 3、4
・妊産婦緊急搬送入院加算	・特定集中治療室管理料 1
・診療録管理体制加算 2	・ハイケアユニット入院医療管理料 1
・急性期看護補助体制加算 3	・総合周産期特定集中治療室管理料(母体・胎児集中治療室管理料)
・療養環境加算	・総合周産期特定集中治療室管理料(新生児集中治療室管理料)
・重症者等療養環境特別加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・無菌治療室管理加算 1、2	・小児入院医療管理料 2・4
・緩和ケア診療加算	・緩和ケア病棟入院料
・精神科応急入院施設管理加算	・
・精神病棟入院時医学管理加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・摂食障害入院医療管理加算	・
・がん診療連携拠点病院加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算 1	・
・感染防止対策加算 1	・
・感染防止対策地域連携加算	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・植込型除細動器移行期加算	・植込型心電図検査
・高度難聴指導管理料	・胎児心エコー法
・糖尿病合併症管理料	・時間内歩行試験
・がん性疼痛緩和指導管理料	・ヘッドアップティルト試験
・がん患者指導管理料 1、2、3	・人工膵臓
・外来緩和ケア管理料	・皮下連続式グルコース測定
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・長期継続頭蓋内脳波検査
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・神経学的検査
・糖尿病透析予防指導管理料	・補聴器適合検査
・外来放射線照射診療料	・ロービジョン検査判断料
・ニコチン依存症管理料	・内服・点滴誘発試験
・開放型病院共同指導料(I)	・センチネルリンパ節生検(併用、単独)
・地域連携診療計画退院時指導料(I)	・画像診断管理加算 2
・がん治療連携計画策定料	・歯科画像診断管理加算 2
・がん治療連携管理料	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
・肝炎インターフェロン治療計画料	・CT撮影及びMRI撮影
・薬剤管理指導料	・冠動脈CT撮影加算
・医療機器安全管理料 1、2	・外傷全身CT加算
・歯科治療総合医療管理料	・大腸CT撮影加算
・在宅患者歯科治療総合医療管理料	・心臓MRI撮影加算
・持続血糖測定器加算	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・造血器腫瘍遺伝子検査	・外来化学療法加算 1
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・無菌製剤処理料
・検体検査管理加算(IV)	・心大血管疾患リハビリテーション料(I)
・遺伝カウンセリング加算	・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・運動器リハビリテーション料(I)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・上顎骨形成術、下顎骨形成術(骨移植を伴う場合に限る。)
・がん患者リハビリテーション料	・上顎骨形成術、下顎骨形成術(骨移植を伴う場合に限る。)(歯科)
・歯科口腔リハビリテーション料 2	・乳がんセンチネルリンパ節加算 1、2
・認知療法・認知行動療法 1	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・精神科ショート・ケア(小規模なもの)	・同種死体肺移植術
・精神科デイ・ケア(小規模なもの)	・生体部分肺移植術
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る)	・経皮的冠動脈形成術
・医療保護入院等診療料	・経皮的冠動脈ステント留置術
・エタノールの局所注入(甲状腺)(副甲状腺)	・経皮的大動脈弁置換術
・透析液水質確保加算 2	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・一酸化窒素吸入療法	・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
・う蝕歯無痛的窩洞形成加算	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・CAD/CAM冠	・植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術
・歯科技工加算	・経静脈電極抜去術(レーザーシースを用いるもの)
・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算)	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る)	・大動脈バルーンパンピング法
・骨移植術(軟骨移植術を含む)(自家培養軟骨移植術に限る)	・補助人工心臓
・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る)	・植込型補助人工心臓(拍動流型)
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む)及び脳刺激装置交換術	・植込型補助人工心臓(非拍動流型)
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・同種心移植術
・治療的角膜切除術(エキシマレーザーによるもの(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る))	・同種心肺移植術
・羊膜移植術	・経皮的大動脈遮断術
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・ダメージコントロール手術
・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	・腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)
・網膜再建術	・腹腔鏡下肝切除術
・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・生体部分肝移植

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・同種死体肝移植術	・外来放射線治療加算
・体外衝撃波膵石破碎術	・高エネルギー放射線療法
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・1回線量増加加算
・同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術	・強度変調放射線治療(IMRT)
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・画像誘導放射線治療(IGRT)
・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	・体外照射呼吸性移動対策加算
・同種死体腎移植術	・直線加速器による放射線治療(定位放射線治療)
・生体腎移植術	・定位照射線治療呼吸性移動対策加算
・膀胱水圧拡張術	・保険医療機関間の連携による病理診断
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作製
・腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術	・テレパソロジーによる術中迅速細胞診
・人工尿道括約筋植込・置換術	・病理診断管理加算 2
・腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術	・病理診断管理加算 2(歯科)
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る)	・クラウンブリッジ維持管理料(補綴物維持管理料)
・胎児胸腔・羊水腔シャント術	・歯科矯正診断料
・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6に掲げる手術	・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る)の手術前後における歯科矯正に係るもの)
・輸血管理料 I	・
・貯血式自己血輸血管理体制加算	・
・自己生体組織接着剤作成術	・
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・
・内視鏡手術用施設機器加算	・
・歯周組織再生誘導手術	・
・手術時歯根面レーザー応用加算	・
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	・
・麻酔管理料(I)、(II)	・
・放射線治療専任加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・インプラント義歯	・
・人工括約筋を用いた尿失禁手術	・
・腹腔鏡補助下腓体尾部切除又は核出術	・
・先天性難聴の遺伝子診断	・
・内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	・
・腹腔鏡下スリーブ胃切除術	・
・X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	・
・歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
 (注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	340回
剖 検 の 状 況	剖検症例数 43 例 / 剖検率 5.70%

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
白斑症治療を目的とした幹細胞からの色素細胞誘導とメラニン産生・蓄積制御機構の検討	土山 健一郎	皮膚科	1,000,000	補委 日本学術振興会
Cripto-1を標的とした大腸癌個別化治療法の確立	唐澤 秀明	胃腸外科	1,000,000	補委 日本学術振興会
高密度脳波及び脳磁図で加算平均法を用いたウエスト症候群の発作焦点同定に関する研究	柿坂 庸介	てんかん科	300,000	補委 日本学術振興会
膵β細胞増殖を促す迷走神経由来因子の探索	今井 淳太	糖尿病代謝科	4,500,000	補委 日本学術振興会
心不全が脳の構造に及ぼす影響の研究	鈴木 秀明	循環器内科	1,000,000	補委 日本学術振興会
表皮機能形成過程におけるオートファジーによる小器官リサイクル機構	高橋 隼也	皮膚科	1,100,000	補委 日本学術振興会
B型肝炎ウイルスの生活環に必要な小胞輸送の分子スイッチの解明	井上 淳	消化器内科	1,100,000	補委 日本学術振興会
低用量バソプレッシン投与が成育限界児の臓器血流に与える影響の解析	渡邊 真平	小児科(周産母子センター)	1,100,000	補委 日本学術振興会
精神病発症リスク状態における自閉症スペクトラム障害の併存、関与についての研究	桂 雅宏	精神科	1,100,000	補委 日本学術振興会
緑内障モデルマウスを用いた神経節細胞障害におけるネクロトーシス細胞死経路の解析	佐藤 孝太	眼科	1,100,000	補委 日本学術振興会
歯原性上皮細胞におけるNGF-p75シグナルによる細胞増殖制御機構の解明	小野 真理子	小児歯科	1,100,000	補委 日本学術振興会
摂食嚥下機能の発達を促すための舌機能訓練法の開発と評価	橋本 恵	障害者歯科治療部	1,100,000	補委 日本学術振興会

計 12

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
くも膜下出血の遅発性脳虚血に対する新たな脳循環指向型全身管理法の開発	武藤 達士	加齢核医学科	1,100,000	補委 日本学術振興会
パルスジェットメスによる内視鏡的治療技術の応用開発	中野 徹	乳腺・内分泌外科	900,000	補委 日本学術振興会
抗癌剤耐性関連ABCトランスポーターに対するクルクミン誘導体の抑制効果の研究	工藤 克昌	胃腸外科	1,000,000	補委 日本学術振興会
CGRPを介した全く新しい機序の緩下剤開発に向けての基礎的検討	長尾 宗紀	胃腸外科	800,000	補委 日本学術振興会
消化器癌に発現する抗癌剤耐性ABCトランスポーターのスプライシングの機能解析	大沼 忍	胃腸外科	1,200,000	補委 日本学術振興会
Metabolic surgeryによるNAFLD改善効果 腸内細菌から検証する	田中 直樹	胃腸外科	1,500,000	補委 日本学術振興会
ユビキチンリガーゼFbxw7と基質タンパク質を標的とした胆道癌個別化治療の確立	益田 邦洋	肝・胆・膵外科	1,500,000	補委 日本学術振興会
ミクログリア・マクロファージを用いた新規神経保護治療の探索的研究	丸山 和一	眼科	1,100,000	補委 日本学術振興会
酸化ストレスを基盤にした緑内障神経保護治療開発研究	檜森 紀子	眼科	1,700,000	補委 日本学術振興会
新規HDAC/PI3K dual inhibitorの開発	西條 憲	がんセンター	1,400,000	補委 日本学術振興会
創傷治癒におけるIL-17の役割と産生制御機構の解明及び慢性創傷における意義	武田 睦	形成外科	1,300,000	補委 日本学術振興会
フローサイトメトリーによる膠原病患者抗血管内皮細胞抗体の対応抗原の同定と機能解析	藤井 博司	血液・免疫科	500,000	補委 日本学術振興会
骨髄間葉系幹細胞における転写因子GATA-2の機能解析	沖津 庸子	血液・免疫科	1,000,000	補委 日本学術振興会

計 13

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
樹状細胞分化におけるGATA2の機能 同一MonoMac症候群の病態解明	大西 康	血液・免疫科	1,400,000	補 委 日本学術振興会
BACH2遺伝子によるB細胞性リンパ腫 進展の解明	福原 規子	血液・免疫科	1,100,000	補 委 日本学術振興会
アシネトバクター属の菌種レベルにお ける耐性機序解析および病原性解析	遠藤 史郎	検査部	1,100,000	補 委 日本学術振興会
レプリカセム観察によるレジン修復物の 長期耐久性と辺縁部劣化の経時的変 化	笹崎 弘己	保存修復科	800,000	補 委 日本学術振興会
歯髄選択血流計を試作し、血流検出を 基準とした新しい歯髄診査法の有用性 を検証する	井川 資英	歯周病科	600,000	補 委 日本学術振興会
三次元計測に基づく顔面の形態的特 徴と患者QOLとの相互連関に関する 検討	埴 総司	咬合回復科	1,100,000	補 委 日本学術振興会
口腔癌、前癌病変の効果的診断・治療 法の開発基盤	橋元 亘	歯科顎口腔外科	700,000	補 委 日本学術振興会
ニオイ記憶検査法による認知症発症予 測精度の向上に向けた研究	馬場 徹	高次脳機能障害科	900,000	補 委 日本学術振興会
喀痰中のマイクロRNAを用いた肺癌の 早期発見に関する研究	桜田 晃	呼吸器外科	1,200,000	補 委 日本学術振興会
移植肺機能不全に対する間葉系幹細胞 を用いた細胞治療の基礎研究	渡邊 龍秋	呼吸器外科	1,400,000	補 委 日本学術振興会
慢性閉塞性肺疾患病態における自然 免疫の役割の解明	小荒井 晃	呼吸器内科	1,300,000	補 委 日本学術振興会
Toll様受容体システムによる抗原依存 的な気道分泌調節機構の解明	玉田 勉	呼吸器内科	1,000,000	補 委 日本学術振興会
ナノバブルを用いた頸部リンパ節ネット ワークのリアルタイム画像解析システム の開発	阪本 真弥	口腔診断科	800,000	補 委 日本学術振興会

計 13

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
形状記憶材料を用いた新規口腔内形態記録方法の開発	小山 重人	顎顔面口腔再建治療部	700,000	補委 日本学術振興会
唾液由来鎮痛物質による新たな顎顔面領域の慢性疼痛制御理論の確立	庄司 憲明	口腔診断科	1,000,000	補委 日本学術振興会
大規模コホート研究およびレセプトを基盤とした両親の産後うつ要因と弊害の新規抽出	西郡 秀和	産科(周産母子センター)	1,400,000	補委 日本学術振興会
妊娠ヒツジ子宮内炎症モデルを用いた胎児皮膚組織における炎症進展機序の解析	齋藤 昌利	産科	1,400,000	補委 日本学術振興会
P2X7受容体を介したシグナル伝達によるシェーグレン症候群発症機序の解明	伊藤 あゆみ	障害者歯科治療部	1,000,000	補委 日本学術振興会
咬合支持喪失に伴う顎口腔系の負荷を可視化するMR画像診断法の確立	山口 哲史	高齢者歯科治療部	800,000	補委 日本学術振興会
乳酸産生が術後痛に与える影響ー酸感受性チャネルを介した痛みのメカニズムー	安田 真	歯科麻酔疼痛管理科	500,000	補委 日本学術振興会
胎児心電図装置を活用した胎児用薬品評価システムの開発	佐藤 尚明	産科	900,000	補委 日本学術振興会
くも膜下出血後の脳血管攣縮期におけるリハビリテーションの有用性の検討	近藤 健男	肢体不自由リハ科(リハ部)	1,400,000	補委 日本学術振興会
大腸癌の新規サブグループの発癌機構に関するmicroRNAの同定・機能解析	高橋 雅信	腫瘍内科	1,100,000	補委 日本学術振興会
末梢型慢性血栓塞栓性肺高血圧症に対する新たな治療法の確立	杉村 宏一郎	循環器内科	1,300,000	補委 日本学術振興会
新型薬剤溶出性ステントの血管機能異常発現に与える効果についての検討	圓谷 隆治	循環器内科	800,000	補委 日本学術振興会
心臓自律神経系修飾による心房細動合併徐脈頻脈症候群の治療戦略に関する研究	福田 浩二	循環器内科	1,200,000	補委 日本学術振興会

計 13

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
エストロゲンによる逆流性食道炎、バレット食道発生に対する抑制効果の機序の解明	飯島 克則	消化器内科	1,100,000	補委 日本学術振興会
胃における自然免疫応答が前癌病変発生を制御する機序の解明	浅野 直喜	消化器内科	1,400,000	補委 日本学術振興会
マイクロRNA関連遺伝子多型の網羅的解析による膵炎遺伝子異常の検討	下瀬川 徹	消化器内科	1,400,000	補委 日本学術振興会
アルコール性膵炎患者の網羅的エクソーム解析による遺伝的要因の解明	糸 潔	消化器内科	2,300,000	補委 日本学術振興会
なぜバルプロ酸は神経管欠損症を引き起こすか？-葉酸代謝酵素欠損マウスを用いた解	菊池 敦生	小児科	1,300,000	補委 日本学術振興会
骨形成不全症の分子生物学的病態解明とWntシグナル経路を介する新しい分子標的治療	菅野 潤子	小児科	1,100,000	補委 日本学術振興会
胎児早産児の脳白質損傷がその後の髄鞘化に与える影響の解析	松田 直	小児科(周産母子センター)	1,400,000	補委 日本学術振興会
成育限界期の胎児・早産児におけるコーチゾル分泌不全の病態解析	北西 龍太	小児科(周産母子センター)	1,200,000	補委 日本学術振興会
Subplate neuronの損傷が胎生期の脳皮質形成に与える影響の解析	埴田 卓志	小児科(周産母子センター)	1,200,000	補委 日本学術振興会
成育限界児を救命するためのポンプレス人工胎盤システムの開発	白田 治夫	小児科(周産母子センター)	1,500,000	補委 日本学術振興会
シェーグレン症候群の克服に向けたヒト唾液腺アポトーシスパスウェイの解析	室井 梓(酒井 梓)	口腔診断科	1,200,000	補委 日本学術振興会
有床義歯は口腔内カンジダ菌のリスク要因か	菊池 雅彦	総合歯科診療部	1,000,000	補委 日本学術振興会
小胞輸送異常に着目したパーキンソン病の分子病態解析	長谷川 隆文	神経内科	1,400,000	補委 日本学術振興会

計 13

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
パーキンソン病における脳内 α -シヌクレイン凝集体の画像化とその臨床応用	菊池 昭夫	神経内科	1,400,000	補委 日本学術振興会
視神経脊髄炎におけるAQP4内在化を介したアストロサイト傷害分子メカニズムの解明	西山 修平	神経内科	1,500,000	補委 日本学術振興会
薬物徐放フィルムによる肺静脈狭窄抑制効果に関する実験的研究	安達 理	心臓血管外科	800,000	補委 日本学術振興会
静脈グラフト劣化と狭窄予防のための生体吸収性薬物徐放血管外ステントの開発	河津 聡	心臓血管外科	1,400,000	補委 日本学術振興会
脊髄虚血に対するナノバブル発生技術を応用した脊髄液酸素化による脊髄保護法の開発	秋山 正年	心臓血管外科	2,000,000	補委 日本学術振興会
思春期過敏性腸症候群発症とトラウマの関連—東日本大震災の影響の検討	遠藤 由香	心療内科	1,100,000	補委 日本学術振興会
消化管知覚の発現機構	庄司 知隆	心療内科	800,000	補委 日本学術振興会
骨折部におけるDickkopf3の発現と機能解析による骨折治癒機構の解明	森 優	整形外科	1,100,000	補委 日本学術振興会
脊髄損傷におけるmTOR阻害薬ラパマイシンの炎症・二次損傷抑制効果の検討	菅野 晴夫	整形外科	900,000	補委 日本学術振興会
メカニカルストレス刺激時における歯根膜細胞から骨芽細胞への分化メカニズム	解良 洋平	矯正歯科	1,200,000	補委 日本学術振興会
腎移植実験による酸化ストレス脆弱性に起因する腎臓病の治療効果の検証	阿部 倫明	総合地域医療教育支援部	900,000	補委 日本学術振興会
OCP/CollagenとMSCとの複合体による骨再生法の確立	川井 忠	歯科顎口腔外科	1,100,000	補委 日本学術振興会
褐色脂肪組織における熱産生抑制につながる自律神経ネットワーク	突田 壮平	糖尿病代謝科	1,300,000	補委 日本学術振興会

計 13

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
肝臓でのアミノ酸シグナルによる代謝臓器間ネットワークの解明	宇野 健司	糖尿病代謝科	1,600,000	補委 日本学術振興会
肝臓-膵β細胞間神経ネットワークの生理的意義の解明	今井 淳太	糖尿病代謝科	1,500,000	補委 日本学術振興会
破骨細胞性骨吸収におけるc-Src下流分子の探索	松原 琢磨	矯正歯科	1,200,000	補委 日本学術振興会
乳癌術前化学療法後の転移リンパ節での乳癌幹細胞の量・機能の高感度蛍光ナノ解析	多田 寛	乳腺・内分泌外科	1,500,000	補委 日本学術振興会
トリプルネガティブ乳癌における治療アルゴリズムの構築:臓器横断的アプローチ	宮下 穰	乳腺・内分泌外科	2,200,000	補委 日本学術振興会
パルスジェットメスによる深部頭蓋底腫瘍摘出法の開発	川口 奉洋	脳神経外科(高度救命救急センター)	1,400,000	補委 日本学術振興会
入院切迫早産妊婦におけるケアとケアを融合した看護実践ガイドラインの開発	伊藤 直子	東6階病棟	1,100,000	補委 日本学術振興会
皮膚疾患におけるマクロファージ亜集団の解析	渡部 晶子	皮膚科	1,700,000	補委 日本学術振興会
選択的遺伝子欠損マウスを用いた表皮ヘムオキシゲナーゼ1の機能解析	水芦 政人	皮膚科	800,000	補委 日本学術振興会
加齢卵母細胞における核小体構造の解析とSUMO化の生理的意義の検討	井原 基公	婦人科	1,900,000	補委 日本学術振興会
月経関連疾患に対する遺伝・環境・生活習慣の関連および妊娠分娩経過による影響	渡邊 善	婦人科	1,000,000	補委 日本学術振興会
核医学画像診断による放射線心筋障害の早期検出のための前向き研究	高浪 健太郎	放射線治療科(放射線部)	300,000	補委 日本学術振興会
乳癌biomarkerとしての3テスラMRI拡散強調画像の撮像法、評価法の確立	森 菜緒子	放射線診断科	500,000	補委 日本学術振興会

計 13

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
3テスラMRIを用いた、日本人のハイリスク頸動脈プラーク性状の解明	大田 英揮	放射線診断科	500,000	補委 日本学術振興会
緑内障の客観的早期診断法の開発に向けて～脳MRIはバイオマーカーとなり得るか？	館脇 康子	放射線診断科	1,900,000	補委 日本学術振興会
副腎静脈サンプリングにおける超選択的採血システムの開発	清治 和将	放射線診断科(放射線部)	1,400,000	補委 日本学術振興会
非侵襲的眼底血流測定による妊娠高血圧症候群の早期診断法の開発	倉片 三千代	メガバンク菅原研気付(婦人科)	1,000,000	補委 日本学術振興会
口腔粘膜のびらん・潰瘍病変における抗原提示能とオートファジー解析による治療創生	菅原 由美子	口腔診断科	1,700,000	補委 日本学術振興会
フルカウントウエアジルコニア修復の長期予後を目指した前向き臨床研究	三浦 賞子	咬合修復科	1,700,000	補委 日本学術振興会
カテコール系接着ポリマー含有シリコンの義歯床粘膜面応用に関する研究	佐藤 奈央子	顎顔面口腔再建治療部	1,600,000	補委 日本学術振興会
新生児血圧の疫学に関する研究	井上 隆輔	メディカルITセンター	700,000	補委 日本学術振興会
降圧薬の最大降圧度および最大効果出現日数に関する情報の構築:家庭血圧に基づく検討	佐藤 倫広	薬剤部	1,700,000	補委 日本学術振興会
遺伝子改変マウスを応用した肺胞上皮幹細胞の同定	山田 充啓	呼吸器内科	1,200,000	補委 日本学術振興会
ヒトの歯を用いた低線量長期外部被曝量の測定	高橋 温	障害者歯科治療部	2,000,000	補委 日本学術振興会
ω -3系および ω -6系脂肪酸由来エイコサノイドの細胞外放出機構に関する研究	山口 浩明	薬剤部	1,200,000	補委 日本学術振興会
語彙化錯読の発現機序の解明と訓練手技の開発に関する研究	遠藤 佳子	リハビリテーション部	700,000	補委 日本学術振興会

計 13

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
進行性腎疾患における腎臓リハビリテーションの有効性を加速させる新しい方策の樹立	須田 千尋	内部障害リハビリテーション科(リハビリテーション部)	1,200,000	補委 日本学術振興会
高齢者の無症候性脳所見が日常生活機能障害に及ぼす影響の縦断的評価	富田 尚希	老年科	500,000	補委 日本学術振興会
緑内障モデルにおけるカルパイン阻害薬の網膜、中枢神経保護効果の解明	劉 孟林	眼科	1,200,000	補委 日本学術振興会
肺癌における抗アポトーシス蛋白Survivinと抗腫瘍薬への応用	遠藤 千頭	呼吸器外科	1,400,000	補委 日本学術振興会
マイクロアレイを用いたHPV関連頭頸部発癌と予後に関わるマイクロRNA異常解析	石田 英一	耳鼻咽喉・頭頸部外科	900,000	補委 日本学術振興会
妊娠時過剰インスリン抵抗性への治療的戦略:次世代の生活習慣病発症予防も目指して	杉山 隆	周産母子センター(産婦人科気付)	1,200,000	補委 日本学術振興会
口腔がん関連遺伝子PP2C δの機能解明による, アポトーシス原因疾患治療への展開	神藤 佑亮	顎顔面口腔再建治療部	1,500,000	補委 日本学術振興会
リンパ節間質液圧特性に基づいた口腔癌リンパ節転移早期診断法の開発	阿部 陽子	歯科顎口腔外科	1,500,000	補委 日本学術振興会
レジンモノマーの安全性を評価する先進的なセルベースアッセイ系の構築	折本 愛	保存修復科	1,000,000	補委 日本学術振興会
microRNA発現解析による胆道閉鎖症患者の層別化と個別化治療のための研究	佐々木 英之	小児外科	1,500,000	補委 日本学術振興会
ウイルス肝癌微小環境のMDSC、TAM、Treg誘導機構解明による治療法開発	近藤 泰輝	消化器内科	1,200,000	補委 日本学術振興会
肝癌増殖におけるエキソソームを介した機能性RNA輸送機構の解明と治療応用	小暮 高之	消化器内科	800,000	補委 日本学術振興会
臨床検体から導き出す膵癌幹細胞関連 miRNAを用いた膵癌治療の確立	菅野 敦	消化器内科	1,200,000	補委 日本学術振興会

計 13

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
卵母細胞特異的に発現するTAp63 α -Bnc1シグナルの機能解析	坂本 雅弘	産科	600,000	補委 日本学術振興会
精神病早期段階における家族の心理的負荷の形成・維持要因の解明	濱家 由美子	精神科	1,100,000	補委 日本学術振興会
ARMSのうつ症状と認知機能の関係についての縦断研究	大室 則幸	精神科	1,700,000	補委 日本学術振興会
被災地医療を体験することで医学生は将来地域医療に従事するか？	田畑 雅央	卒後研修センター	1,200,000	補委 日本学術振興会
生体埋入型バクテリアチャンバーを用いた歯性感染症に対する免疫応答評価	松井 有恒	歯科顎口腔外科	1,300,000	補委 日本学術振興会
成体由来幹細胞の分離技術・遺伝子導入技術を用いた歯牙・歯周組織再生	新部 邦透	咬合修復科	700,000	補委 日本学術振興会
超音波画像による頸部リンパ節転移診断のためのボリュームレジストレーション法の開発	阪本 真弥	口腔診断科	2,900,000	補委 日本学術振興会
膵発癌過程におけるselection pressureの網羅的解析と治療応用	下瀬川 徹	消化器内科	4,600,000	補委 日本学術振興会
造影高周波超音波画像による口腔癌微小転移リンパ節の検出およびマッピング法の開発	森 士朗	歯科顎口腔外科	5,100,000	補委 日本学術振興会
歯および唾液腺の形態形成に関わる分子基盤の同定とその制御法の開発	福本 恵美子	小児歯科	5,800,000	補委 日本学術振興会
M-CSF誘発性リンパ管新生刺激因子VEGF-C,D産生の細胞内シグナル解析	小林 誠	呼吸器内科	1,800,000	補委 日本学術振興会
膠原病性肺高血圧症の病態解明-骨髄由来免疫抑制細胞の分化とGATA-2の関与-	城田 祐子	血液・免疫科	1,900,000	補委 日本学術振興会
軟組織創傷治癒過程を加味した頭頸部がんリハビリテーション診療ガイドラインの提言	吉田 英子	予防歯科	900,000	補委 日本学術振興会

計 13

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
金属ガラス製歯科生体材料の開発	岩崎 将也	矯正歯科	500,000	補 委 日本学術振興会
WASP異常症及び新規常染色体劣勢WASの分子病態と迅速診断法に関する研究	渡辺 祐子	小児科	1,500,000	補 委 日本学術振興会
質量分析計を用いた新規頭頸部癌唾液、血液マーカーの検出	小川 武則	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,800,000	補 委 日本学術振興会
難治性SLEに対するボルテゾミブ療法の有効性・安全性検証試験	張替 秀郎	血液・免疫科	42,750,000	補 委 厚生労働省
難治性潰瘍を伴う強皮症、混合性結合組織病、全身性エリテマトーデスに対する低出力体外衝撃波治療法	石井 智徳	血液・免疫科	32,577,000	補 委 厚生労働省
小児期発症の希少難治性肝胆膵疾患における包括的な診断・治療ガイドライン作成に関する研究	仁尾 正記	小児外科	20,231,000	補 委 厚生労働省
東日本大震災被災地の小児保健に関する調査研究	呉 繁夫	小児科	115,000,000	補 委 厚生労働省
肝細胞増殖因子による筋萎縮性側索硬化症の新規治療法開発	青木 正志	神経内科	252,231,000	補 委 厚生労働省
希少難治性筋疾患に関する調査研究	青木 正志	神経内科	22,385,000	補 委 厚生労働省
遠位型ミオパチーにおけるN-アセチルノイラミン酸の薬物動態の検討及び第2/3相試験	青木 正志	神経内科	72,462,000	補 委 厚生労働省
医療機器の登録認証機関の国際整合に向けた課題の可視化に関する研究	池田 浩治	臨床研究推進センター	7,000,000	補 委 厚生労働省
アルツハイマー病診断用タウプローブの開発および探索的臨床研究	工藤 幸司	臨床研究推進センター	38,462,000	補 委 厚生労働省
医療機器・難病・希少疾患などに対するアカデミア主導の臨床研究	下瀬川 徹	消化器内科	70,000,000	補 委 厚生労働省

計 13

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
日本における今後の死亡統計のあり方の提言	中谷 純	メディカルITセンター	2,600,000	補 委 厚生労働省
東日本大震災における精神疾患の実態についての疫学的調査と効果的な介入方法の開発についての研究	松岡 洋夫	精神科	3,000,000	補 委 厚生労働省
切除可能膵癌の術前化学療法の有効性・安全性に関する臨床試験	海野 倫明	肝・胆・膵外科	34,200,000	補 委 厚生労働省
多色発行細胞を用いたhigh-throughput 免疫毒性評価試験法の開発	相場 節也	皮膚科	7,777,000	補 委 厚生労働省
東日本大震災における高齢者特有の医学的影響とその予防法に関する研究	坂田 泰彦	循環器内科	10,539,000	補 委 厚生労働省
生活習慣病予防のための運動を阻害する要因とその対策に関する研究	下川 宏明	循環器内科	2,310,000	補 委 厚生労働省
受精卵呼吸測定装置を用いた臨床試験に橋渡しするための安全性および有効性に関する研究	宇都宮 裕貴	産婦人科	18,800,000	補 委 厚生労働省
コンダクター型総合診療医の養成	石井 正	総合地域医療教育支援部	67,100,000	補 委 文部科学省
不妊に関する専門的な相談と、生殖補助医療技術による妊孕性の向上に関する研究	宇都宮裕貴	婦人科	1,416,720	補 委 宮城県
(24-1)統合失調症の診断、治療法の開発に関する研究Ⅱ	松岡洋夫	精神科	2,000,000	補 委 独立行政法人国立精神・神経医療研究センター
(26-8)筋ジストロフィー関連疾患の基盤的診断・治療開発研究	青木正志	神経内科	1,000,000	補 委 独立行政法人国立精神・神経医療研究センター
チロシンキナーゼ阻害剤による有効ながん治療の実用化に関する研究(EGFR遺伝子変異陽性肺がんの遺伝学的発がん機構の解明)	菊地利明	呼吸器内科	11,000,000	補 委 文部科学省
(26-A-4)リンパ系腫瘍・多発性骨髄腫に対する標準的治療確立のための多施設共同研究	石澤賢一	血液・免疫科	400,000	補 委 独立行政法人国立がん研究センター

計 13

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
(26-A-4) 婦人科悪性腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同研究	八重樫伸生	婦人科	4,400,000	補 委 独立行政法人国立がん研究センター
(25-A-11) 再生医療のがん治療応用を目指した基盤整備に関する研究	坂田直昭	肝・胆・膵外科	1,000,000	補 委 独立行政法人国立がん研究センター
(26-11) 成育希少疾患の症例登録と遺伝学的診断に関する研究	青木洋子	遺伝科	1,000,000	補 委 独立行政法人国立成育医療研究センター
角膜上皮幹細胞疲弊症に対する自己培養口腔粘膜上皮細胞シート移植法の多施設共同臨床試験	中澤徹	眼科	1,000,000	補 委 国立大学法人大阪大学
(25-4-3) 脳心血管疾患に係るハイリスク者を抽出する循環器先制医療技術開発に関する研究	下川宏明	循環器内科	1,000,000	補 委 独立行政法人国立循環器病研究センター
卵巣癌を対象とした分子標的治療薬BK-UMの臨床開発	高野忠夫	臨床研究推進センター	2,800,000	補 委 国立大学法人大阪大学
婦人科腫瘍登録事業に関する統計処理およびデータマネジメント業務	高橋史朗	臨床研究推進センター	700,000	補 委 公益社団法人日本産科婦人科学会
機械的強度と弾性率を部位毎に最適化させた新素材活用による新たな人工股関節ステムの開発と事業化	池田浩治	臨床研究推進センター	123,485	補 委 公益財団法人にいがた産業創造機構
乳癌患者におけるHER-2蛋白、ホルモン受容体をはじめとする予後因子に関する検討・免疫組織的検討	渡辺みか	病理部	10,380,000	補 委 国家公務員共済組合連合会東北公済病院
不安定プラークの血液診断薬の開発	池田浩治	臨床研究推進センター	650,000	補 委 学校法人岩手医科大学
セレンディピターを用いた細胞検出技術の確立	富永悌二	脳神経外科	1,430,000	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
生物学的製剤治療の経済学的評価や社会的生産性などを検証するプロスペクティブ研究	山口拓洋	臨床研究推進センター	2,000,000	補 委 公益財団法人一迫記念READ血液アカデミー
遠隔病理診断装置の実用化	渡邊みか	病理部	478,000	補 委 気仙沼市立病院

計 13

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
がん超早期診断・治療機器の総合研究開発／超早期高精度診断システムの研究開発／病理画像等認識技術の研究開発／病理画像等認識基礎技術の研究開発(1粒子蛍光ナノイメージン	大内憲明	乳腺・内分泌外科	77,748,000	補 委 独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構
高い眼内移行性を有するナノ粒子眼科製剤の開発と有効性評価	中澤徹	眼科	4,266,600	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
嚥下障害リハビリ用マウスピースの研究開発	出江紳一	肢体不自由リハビリテーション科	611,000	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
臓器間ネットワーク機構の統合的機能解明とその制御	片桐秀樹	糖尿病代謝科	53,027,000	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
血液内科学分野にかかる学術研究動向に関する調査研究	張替秀郎	血液・免疫科	1,690,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
国産技術に基づく世界初の衝撃波アブレーション不整脈治療システムの開発	下川宏明	循環器内科	39,729,600	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
3D眼底形状イメージングによる簡易的な緑内障リスク評価システムの構築	中澤徹	眼科	5,046,600	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
医療機関および薬剤師における副作用等報告制度の認識と実践の実態把握とその推進に関する研究	眞野成康	薬剤部	3,900,000	補 委 厚生労働省
筋萎縮性側索硬化症(ALS)新規治療法開発をめざした病態解明	青木正志	神経内科	40,000,000	補 委 厚生労働省
細胞内シグナル伝達異常による先天奇形症候群の病態解明と治療法開発の研究	青木洋子	遺伝科	39,988,000	補 委 厚生労働省
乳がん検診における超音波検査の有効性検証に関する研究	大内憲明	乳腺・内分泌外科	148,600,000	補 委 厚生労働省
小児科・産科領域疾患の大規模遺伝子解析ネットワークとエピゲノム解析拠点整備	青木洋子	遺伝科	27,750,000	補 委 独立行政法人国立成育医療研究センター
新生児タンデムマススクリーニング対象疾患の診療ガイドライン改訂、診療の質を高めるための研究	坂本修	小児科	1,000,000	補 委 国立大学法人岐阜大学

計 13

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
低侵襲大動脈瘤存在診断装置の開発	齋木佳克	心臓血管外科	49,270,000	補 委 厚生労働省
標準治療抵抗性神経膠芽腫に対するペプチドワクチンの第三相臨床研究	富永悌二	脳神経外科	1,000,000	補 委 学校法人久留米大学
高齢者多発性骨髄腫患者に対する至適な分子標的療法の確立と治療効果および有害事象を予測するバイオマーカーの探索的研究	福原規子	血液・免疫科	1,500,000	補 委 独立行政法人国立がん研究センター
早期子宮頸がんに対する機能温存低侵襲手術の確立に関する研究	高野忠夫	臨床研究推進センター	1,000,000	補 委 独立行政法人国立がん研究センター
がん治療に伴う皮膚変化の評価方法と標準的ケア確立に関する研究	菊地克子	皮膚科	678,000	補 委 独立行政法人国立がん研究センター
パーキンソン病患者由来iPS細胞を中心とする多面的疾患モデルに立脚した革新的医薬品の開発	青木正志	神経内科	2,300,000	補 委 国立大学法人京都大学
高悪性度神経内分泌肺癌切除例に対する術後補助化学療法の標準治療確立のための研究	井上彰	呼吸器内科	500,000	補 委 独立行政法人国立がん研究センター
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	保坂正美	整形外科	550,000	補 委 国立大学法人九州大学
次世代シーケンサーを用いた孤発性の神経難病の発症機構の解明と治療法開発に関する研究	青木正志	神経内科	2,500,000	補 委 国立大学法人神戸大学
上皮性卵巣癌の妊孕性温存治療の対象拡大のための非ランダム化検証的試験	高野忠夫	臨床研究推進センター	1,500,000	補 委 国立大学法人筑波大学
先天性リンパ管疾患の診療指針作成及び病理・細胞生物学的知見の臨床応用へ向けた研究	青木洋子	遺伝科	1,200,000	補 委 学校法人慶應義塾大学
孤発性ALS患者大規模前向きコホートの臨床バイオリソース・ゲノム遺伝子・不死化細胞を用いた病態解明、治療法開発研究	青木正志	神経内科	1,000,000	補 委 国立大学法人名古屋大学
BIM遺伝子多型陽性癌におけるHDAC阻害薬の耐性克服効果を最適化する薬力学的効果の指標を探索する研究	井上彰	呼吸器内科	1,000,000	補 委 国立大学法人金沢大学

計 13

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
家族性アルツハイマー病に関する縦断的観察コホート研究	森悦朗	高次脳機能障害科	1,000,000	補 委 公立大学法人大阪市立大学
重症急性膵炎に対する蛋白分解酵素阻害薬・抗菌薬膵局所動注療法の有効性に関する多施設共同ランダム化比較試験	下瀬川徹	消化器内科	32,500,000	補 委 厚生労働省
プリオンド蛋白質の凝集・伝播を標的とした神経コンフォメーション病の治療法開発	長谷川隆文	神経内科	4,000,000	補 委 独立行政法人国立精神・神経医療研究センター
てんかんに対する総合的な医療の提供体制整備に関する研究	中里信和	てんかん科	200,000	補 委 独立行政法人国立精神・神経医療研究センター
IgG4関連疾患の病因病態解明と新規治療法確立に関する研究	下瀬川徹	消化器内科	1,200,000	補 委 国立大学法人京都大学
遺伝性心血管疾患における集中的な遺伝子解析及び原因究明に関する研究	下川宏明	循環器内科	1,500,000	補 委 国立大学法人大阪大学
数値流体力学による脳動脈瘤発症リスク診断法の開発	富永悌二	脳神経外科	66,000	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
四肢麻痺患者の自立支援を目的とした多連発パルス刺激による新しいリハビリテーションシステムの開発	出江紳一	肢体不自由リハビリテーション科	6,999,200	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
革新的医療機器開発事業進捗管理業務	病院長	臨床研究推進センター	14,000,000	補 委 宮城県
医工連携を基盤としたトランスレーショナルリサーチ拠点形成	下川宏明	臨床研究推進センター	555,320,613	補 委 文部科学省
HDAC/PI3K2重阻害作用を有する新規デブシペプチド類縁対の開発	石岡千加史	腫瘍内科	50,000,000	補 委 文部科学省
サイクロフィリンAを用いた心血管病の新しい早期発見・予防・治療法開発	下川宏明	循環器内科	55,000,000	補 委 文部科学省
ミトコンドリア病の新規治療薬開発	阿部高明	腎・高血圧・内分泌科	61,000,000	補 委 文部科学省

計 13

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
β単相超弾性材料創製及びそれを用いた次世代IVRデバイスの臨床応用	山内清	臨床研究推進センター	50,000,000	補 委 文部科学省
神経・血管温存下に最大限の病変摘出を行う手術用治療器(パルスウォータージェットメス)の開発	富永悌二	脳神経外科	80,000,000	補 委 文部科学省
中枢神経系内広範囲局所薬剤送達技術	富永悌二	脳神経外科	50,000,000	補 委 文部科学省
中枢神経系内広範囲局所薬剤送達技術	後藤昌史	移植・再建・内視鏡外科	70,502,000	補 委 宮城県
中枢神経系内広範囲局所薬剤送達技術	下川宏明	循環器内科	45,000,000	補 委 宮城県
中枢神経系内広範囲局所薬剤送達技術	高瀬圭	放射線診断科	128,518,000	補 委 宮城県
臨床研究中核病院整備事業	病院長	臨床研究推進センター	408,000,000	補 委 宮城県
国産医療機器創出促進基盤整備等事業	富永悌二	臨床研究推進センター	6,073,000	補 委 宮城県
StageⅢ結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのカペシタビンの至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相臨床試験(JFMC37-0801)	大沼忍	胃腸外科	10,000	補 委 公益財団法人がん集学的治療研究財団
術後補助化学療法におけるフッ化ピリミジン系薬剤の有用性に関する比較臨床試験(治癒切除直腸癌に対するUET療法とTS-1療法との比較検討)	大沼忍	胃腸外科	54,990	補 委 公益財団法人がん集学的治療研究財団
冠動脈疾患患者に対するピタバスタチンによる積極的脂質低下療法または通常脂質低下療法のランダム化比較試験	下川宏明	循環器内科	460,000	補 委 公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
慢性心不全患者に対するAdaptive-Servo Ventilatorに関するランダム化比較試験(SAVIOR-C)	下川宏明	循環器内科	210,000	補 委 公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
切除不能進行・再発胃癌症例に対するTS-1の連日投与方法および隔日投与方法のランダム化第Ⅱ相試験(JFMC43-1003)	海野倫明	胃腸外科	5,000	補 委 公益財団法人がん集学的治療研究財団

計 13

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
StageⅢ結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験	海野倫明	肝・胆・膵外科	482,400	補 委 公益財団法人がん集学的治療研究財団
思春期女性へのHPVワクチン公費助成開始後における子宮頸癌のHPV16/18陽性割合の推移に関する長期疫学研究	永瀬 智	婦人科	107,000	補 委 財団法人国際科学振興財団
エストロゲン受容体陽性HER2陰性乳癌に対するS-1術後療法ランダム化比較第Ⅲ相試験 (POTENT)	石田孝宣	乳腺・内分泌外科	700,000	補 委 公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
再発・転移頭頸部扁平上皮癌に対するPaclitaxel+Carboplatin+Cetuximab(PC E)併用療法の第Ⅱ相試験 (CSPOR-HN02)	西條憲	がんセンター	216,000	補 委 公益財団法人公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
医療情報データベース分析手法高度化のためのデータ検証(バリデーション)事業	中山雅晴	メディカルITセンター	15,141,000	補 委 厚生労働省
トシリズマブ使用関節リウマチ患者の長期観察研究	山口拓洋	臨床試験データセンター	525,000	補 委 公益財団法人READ血液アカデミー
Epidermal Growth Factor Receptor activating mutation positive(EGFRm+)の進行・再発非小細胞肺癌(NSCLC)治療の観察研究 (CSPOR LS-02)	井上彰	呼吸器内科	302,400	補 委 公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
低ホスファターゼ症 (HPP) 患者を対象としたAsfotase Alfa (ALXN1215) (ヒト遺伝子組換え組織非特異的アルカリホスファターゼ融合蛋白)の安全性、有効性を検討する多施設共同治験	藤原幾磨	小児科	260,000	補 委 公益公益財団法人先端医療振興財団
保存期慢性腎臓病患者を対象とした臨床研究ーダルベポエチン アルファ製剤低反応に関する検討ー (BRIGHTEN)	佐藤博	腎・高血圧・内分泌科	97,200	補 委 公益公益財団法人先端医療振興財団

合計 229

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	山本 照子	顎口腔矯正学分野	A case report of multidisciplinary treatment of an adult patient with bilateral cleft lip and palate.	Cleft Palate Craniofac. J.・51・6・711・721・2014
2	山本 照子	顎口腔矯正学分野	Lectin histochemistry of palatine glands in the developing rat.	Acta Histochemica.・116・4・596・605・2014
3	福土審	心療内科	Physiological and psychological individual differences influence resting brain function measured by ASL perfusion.	Brain Struct Funct ・219・5・1673・1684・2014
4	石岡千加史	臨床腫瘍学 (腫瘍内科)	[The survey for anti-emetic guideline by using questioner].	Gan To Kagaku Ryoho・42・305・311・2015
5	下瀬川 徹	消化器病態学分野	2014 Japan Pancreas Society Presidential Address: the American Pancreatic Association/Japan Pancreas Society joint meeting on the Big Island (the second American Pancreatic Association/Japan Pancreas Society joint meeting).	Pancreas・43・8・1130・1130・2014
6	中澤 徹	眼科学分野	25-gauge microincision vitrectomy to treat vitreoretinal disease in glaucomatous eyes after trabeculectomy.	J Ophthalmol・2014・306814・306814・2014
7	富永悌二	脳神経外科	A case of bilateral giant internal carotid artery aneurysms at the cavernous portion managed by 2-stage extracranial-intracranial bypass with parent artery occlusion: consideration for bypass selection and timing of surgeries	J Stroke Cerebrovasc Dis ・23・8・393・398・2014
8	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野	A case of culture-negative endocarditis due to Streptococcus tigurinus.	J Infect Chemother・21・2・138・140・2014
9	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	A functional (pro)renin receptor is expressed in human lymphocytes and monocytes.	Am J Physiol Renal Physiol・308・5・F487・F499・2015

計 9

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
10	富永悌二	脳神経外科	A Multicenter Phase I/II Study of the BCNU Implant (Gliadel®) Wafer for Japanese Patients with Malignant Gliomas	Neurol Med Chir (Tokyo)・54・4・290・301・2014
11	下瀬川 徹	消化器病態学分野	A multicenter prospective study on the prevalence of Helicobacter pylori-negative and NSAIDs-negative idiopathic peptic ulcers in Japan.	J Gastroenterol Hepatol・30・5・842・848・2014
12	新倉 仁	婦人科学分野	A New Diagnostic Method for Rapid Detection of Lymph Node Metastases Using a One-Step Nucleic Acid Amplification (OSNA) Assay in Endometrial Cancer.	Ann Surg Oncol・22・3・980・986・2014
13	中澤 徹	眼科学分野	A Platform for Controlled Dual-Drug Delivery to the Retina: Protective Effects against Light-Induced Retinal Damage in Rats.	Adv Healthc Mater・3・10・1555・1560・2014
14	中澤 徹	眼科学分野	A polymeric device for controlled transscleral multi-drug delivery to the posterior segment of the eye	Acta Biomater・10・680・687・2014
15	張替 秀郎	血液・免疫病学分野	A prospective analysis of clinical efficacy and safety in chronic myeloid leukemia-chronic phase patients with imatinib resistance or intolerance as evaluated using European LeukemiaNet 2013 criteria	Eur J Haematol・2015
16	遠藤 千顕	呼吸器外科	A prospective study of surgical procedures for patients with oligometastatic non-small cell lung cancer.	Ann Thorac Surg・98・1・258・264・2014
17	富永悌二	脳神経外科	A prospective, multicenter, randomized study of the efficacy of eicosapentaenoic acid for cerebral vasospasm: the EVAS study	World Neurosurg・81・2・309・315・2014
18	下瀬川 徹	消化器病態学分野	A quantitative HPLC-UV method for determination of serum sorafenib and sorafenib N-oxide and its application in hepatocarcinoma patients.	Tohoku J Exp Med・233・2・103・112・2014
19	福土 審	心療内科	A questionnaire-based survey on the diagnosis and management of inflammatory bowel disease in East Asian countries in 2012.	Digestion・89・1・88・103・2014

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
20	富永 倮二	脳神経外科	A ruptured aneurysm arising at the leptomeningeal collateral circulation from the extracranial vertebral artery to the posterior inferior cerebellar artery associated with bilateral vertebral artery occlusion	J Stroke Cerebrovasc Dis • 23•2•135•139• 2014
21	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野	A survey conducted immediately after the 2011 Great East Japan Earthquake: evaluation of infectious risks associated with sanitary conditions in evacuation centers.	J Infect Chemother •20•8• 498•501•2014
22	佐藤 文俊	腎・高血圧・内分泌科	Aberrant gonadotropin-releasing hormone receptor (GnRHR) expression and its regulation of CYP11B2 expression and aldosterone production in adrenal aldosterone-producing adenoma (APA).	Mol Cell Endocrinol •384• (1-2) •102•108• 2014
23	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Accommodation in a refugee shelter as a risk factor for peptic ulcer bleeding after the Great East Japan Earthquake: a case-control study of 329 patients.	J Gastroenterol • 50•1•31•40•2015
24	渡邊 みか	病理部	Achievement of three year remission in a case of aggressive glioblastoma using a multidisciplinary treatment strategy: A case report.	Oncol Lett •7•5• 1608•1612•2014
25	森 士朗	歯科顎口腔外科	Activation of latent metastases in the lung after resection of a metastatic lymph node in a lymph node metastasis mouse model	Biochem Biophys Res Commun •460• 3•543•548•2015
26	海野 倫明	消化器外科学分野	Activation of Notch1 promotes development of human CD8(+) single positive T cells in humanized mice.	Biochem Biophys Res Commun •447• 2•346•351•2014
27	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Acute onset collagenous colitis with unique endoscopic findings.	Case Rep Gastrointest Med • 2014•986092• 986092•2014
28	廣田 衛久	消化器内科	Acute pancreatitis bundles: 10 clinical regulations for the early management of patients with severe acute pancreatitis in Japan	J Hepatobiliary Pancreat Surg •21• 11•829•830•2014
29	佐藤 文俊	腎・高血圧・内分泌科	Adrenal CYP11B1/2 expression in primary aldosteronism: Immunohistochemical analysis using novel monoclonal antibodies.	Mol Cell Endocrinol •392• (1-2) •73•79•2014

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
30	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Aldosterone suppression on contralateral adrenal during adrenal vein sampling does not predict blood pressure response after adrenalectomy.	J Clin Endocrinol Metab・99・11・4158・4166・2014
31	濱田 晋	消化器病態学分野	Alteration of the microRNA expression profile during the activation of pancreatic stellate cells	Scand. J. Gastroenterol.・49・3・323・331・2014
32	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Amendment of the Japanese Consensus Guidelines for Autoimmune Pancreatitis, 2013 I. Concept and diagnosis of autoimmune pancreatitis.	J Gastroenterol・49・4・567・588・2014
33	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Amendment of the Japanese Consensus Guidelines for Autoimmune Pancreatitis, 2013 II. Extrapancreatic lesions, differential diagnosis.	J Gastroenterol・49・5・765・784・2014
34	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Amendment of the Japanese Consensus Guidelines for Autoimmune Pancreatitis, 2013 III. Treatment and prognosis of autoimmune pancreatitis.	J Gastroenterol・49・6・961・970・2014
35	山本 照子	顎口腔矯正学分野	An anti-c-Fms antibody inhibits osteoclastogenesis in a mouse periodontitis model.	Oral. Dis.・20・3・319・324・2014
36	中島 一郎	神経内科学分野	An autopsy case involving a 12-year history of amyotrophic lateral sclerosis with CIDP-like polyneuropathy.	Intern Med・53・12・1371・1375・2014
37	宮城 重人	移植外科&食道・消化器外科	An evaluation of the safety of pure laparoscopic hepatectomy in patients with liver cirrhosis: Investigations including serum albumin and ascites	Surgical Laparoscopy, Endoscopy and Percutaneous Techniques・25・3・209・211・2015
38	田中 淳一	総合地域医療教育支援部	An observational study of giant cell interstitial pneumonia and lung fibrosis in hard metal lung disease.	BMJ Open・4・3・e004407・e004407・2014
39	張替 秀郎	血液・免疫病学分野	Analysis of clinical characteristics and prognostic factors for angioimmunoblastic T-cell lymphoma	Int J Hematol・101・6・536・542・2015

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
40	中澤 徹	眼科学分野	Analysis of higher-order aberrations in eyes having undergone intraocular lens suturing.	Clin Experiment Ophthalmol・43・1・92・94・2014
41	渡邊 みか	病理部	Angiogenesis and vascular maturation in neuroendocrine tumors.	Hum Pathol・45・4・866・874・2014
42	富永 悌二	脳神経外科	Angiographic circulation time and cerebral blood flow during balloon test occlusion of the internal carotid artery	J Cereb Blood Flow Metab・34・1・136・143・2014
43	佐藤 文俊	腎・高血圧・内分泌科	Angiotensin II receptor blockers differentially affect CYP11B2 expression in human adrenal H295R cells.	Mol Cell Endocrinol・383・(1-2)・60・68・2014
44	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野	Antibiotic susceptibility survey of blood-borne MRSA isolates in Japan from 2008 through 2011.	J Infect Chemother・20・9・527・534・2014
45	中島 一郎	神経内科学分野	Anti-N-methyl-D-aspartate receptor encephalitis with multiphasic demyelination.	Ann Neurol・76・3・462・464・2014
46	中島 一郎	神経内科学分野	Apathy/depression, but not subjective fatigue, is related with cognitive dysfunction in patients with multiple sclerosis.	BMC Neurol・14・1・3・3・2014
47	高山 真	総合地域医療教育支援部	Application of Traditional Medical Ideas to Geriatric Syndrome	Advances in Geriatrics・2014
48	中島 一郎	神経内科学分野	Aquaporin-4 antibody-positive myelitis initially biopsied for suspected spinal cord tumors: diagnostic considerations.	Mult Scler・20・5・621・626・2014
49	中澤 徹	眼科学分野	Artemin augments survival and axon regeneration in axotomized retinal ganglion cells.	J Neurosci Res・92・12・1637・1646・2014

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
50	高山 真	総合地域医療教育支援部	Assessment of short-term changes in optic nerve head hemodynamics in hyperoxic conditions with laser speckle flowgraphy	Current Eye Research・2014
51	張替 秀郎	血液・免疫病学分野	Association between BACH2 expression and clinical prognosis in diffuse large B-cell lymphoma	Cancer Sci・105・4・437・444・2014
52	中澤 徹	眼科学分野	Association between histological findings and polarization-sensitive optical coherence tomography analysis of a post-trabeculectomy human eye.	Clin Experiment Ophthalmol・2015
53	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Association between the body mass index and the risk of Barrett's esophagus in Japan.	Digestion・90・1・1・9・2014
54	井樋 栄二	整形外科科学分野	Association of Reduced Type IX Collagen Gene Expression in Human Osteoarthritic Chondrocytes With Epigenetic Silencing by DNA Hypermethylation.	Arthritis Rheumatol・66・11・3040・3051・2014
55	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Autoimmune pancreatitis complicated with inflammatory bowel disease and comparative study of type 1 and type 2 autoimmune pancreatitis.	J Gastroenterol・50・7・805・815・2014
56	下川 宏明	循環器内科学	Basigin mediates pulmonary hypertension by promoting inflammation and vascular smooth muscle cell proliferation.	Circ Res・115・8・738・750・2014
57	笹原 洋二	小児病態学分野	Binding of WASP/N-WASP interacting protein WIP to actin regulates focal adhesion assembly and adhesion.	Mol. Cell. Biol.・34・14・2600・2610・2014
58	石岡千加史	臨床腫瘍学 (腫瘍内科)	Biochemical, biological and structural properties of romidepsin (FK228) and its analogs as novel HDAC/PI3K dual inhibitors.	Cancer Sci・106・208・215・2015
59	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Bismuth classification is associated with the requirement for multiple biliary drainage in preoperative patients with malignant perihilar biliary stricture.	Surg Endosc・29・7・1862・1870・2014

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
60	佐藤奈央子	顎顔面口腔再建治療部	Bone response to immediate loading through titanium implants with different surface roughness in rats	Odontology・102・2・249・258・2014
61	張替 秀郎	血液・免疫病学分野	Calcified iliopsoas abscess caused by Enterococcus faecalis	Intern Med・53・4・345・2014
62	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Calcium carbonate breath test for non-invasive estimation of gastric acid secretion.	Tohoku J Exp Med・232・4・255・261・2014
63	根本 英二	歯内歯周治療学分野	Calcium Phosphate Particles Induce Interleukin-8 Expression in Human Gingival Epithelial Cell Line via the Nuclear Factor- κ B Signaling Pathway	J. Periodontol.・85・10・1464・1473・2014
64	渡邊 みか	病理部	Case report: adrenal oncocytoma associated with markedly increased FDG uptake and immunohistochemically positive for GLUT1.	Endocr Pathol・25・4・410・415・2014
65	下川 宏明	循環器内科学	Caveolin-1 is a critical determinant of autophagy, metabolic switching, and oxidative stress in vascular endothelium	PLoS ONE・9・2・e87871・2014
66	富永悌二	脳神経外科	Cavernous malformation of the optic pathway mimicking optic glioma: a case report	Childs Nerv Syst・30・10・1753・1758・2014
67	橋本 潤一郎	腎・高血圧・内分泌学分野	Central Hemodynamics and Target Organ Damage in Hypertension	The Tohoku Journal of Experimental Medicine・233・1・1・8・2014
68	橋本 潤一郎	腎・高血圧・内分泌学分野	Central pulse pressure links microalbuminuria with plasma B-type natriuretic peptide elevation: causal implication for cardiorenal syndrome in hypertension	Journal of Hypertension・32・8・1665・1671・2014
69	下川 宏明	循環器内科学	Cerebral blood flow in takotsubo syndrome: is it specific for the disease?	Circ J・78・3・776・776・2014

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
70	中島 一郎	神経内科学分野	Cerebrospinal fluid aquaporin-4 antibody levels in neuromyelitis optica attacks.	Ann Neurol・76・2・305・309・2014
71	中島 一郎	神経内科学分野	Cerebrospinal fluid CXCL13 is a prognostic marker for aseptic meningitis.	J Neuroimmunol・273・42006・77・84・2014
72	富永 悌二	脳神経外科	Cervical perimedullary arteriovenous shunts: a study of 22 consecutive cases with a focus on angioarchitecture and surgical approaches	Neurosurgery・75・3・238・249・2014
73	海野 倫明	消化器外科学分野	Characteristics of printing company workers newly diagnosed with occupational cholangiocarcinoma.	J Hepatobiliary Pancreat Sci・21・11・809・817・2014
74	下川 宏明	循環器内科学	Circadian variation of Rho-kinase activity in circulating leukocytes of patients with vasospastic angina.	Circ J・78・5・1183・1190・2014
75	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Circulating miR-483-3p and miR-21 is highly expressed in plasma of pancreatic cancer.	Int J Oncol・46・2・539・547・2015
76	下川 宏明	循環器内科学	Circulation journal awards for the year 2013	Circ. J.・78・3・535・541・2014
77	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Clinical validation of the international consensus diagnostic criteria and algorithms for autoimmune pancreatitis: combined IAP and KPBA meeting 2013 report.	Pancreatolgy・14・4・233・237・2014
78	海野 倫明	消化器外科学分野	Clinicopathological characterization of so-called "cholangiocarcinoma with intraductal papillary growth" with respect to "intraductal papillary neoplasm of bile duct (IPNB)".	Int J Clin Exp Pathol・7・6・3112・3122・2014
79	海野 倫明	消化器外科学分野	Clinicopathological features and surgical outcomes of adenosquamous carcinoma of the pancreas: a retrospective analysis of patients with resectable stage tumors.	Surg Today・45・3・297・304・2014

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
80	小澤 洋平	食道・消化器外科	c-Met in esophageal squamous cell carcinoma: an independent prognostic factor and potential therapeutic target	BMC Cancer・15・451・2015
81	富永 悌二	脳神経外科	Cognard Type V Intracranial Dural Arteriovenous Shunt: Case Reports and Literature Review With Special Consideration of the Pattern of Spinal Venous Drainage	Neurosurgery・74・1・135・142・2014
82	藤尾 淳	移植外科	Collagenase H is crucial for isolation of rat pancreatic islets	Cell Transplantation・23・10・1187・1198・2014
83	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Combination therapy of hypertension in the elderly: a subgroup analysis of the Combination of OLMesartan and a calcium channel blocker or diuretic in Japanese elderly hypertensive patients trial.	Hypertens Res・38・1・89・96・2015
84	下川 宏明	循環器内科学	Combination therapy with Fasudil and Sildenafil ameliorates monocrotaline-induced pulmonary hypertension and survival in rats	Circ. J.・78・4・967・976・2014
85	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Combinations of olmesartan and a calcium channel blocker or a diuretic in elderly hypertensive patients: a randomized, controlled trial.	J Hypertens・32・10・2054・2063・2014
86	石岡千加史	臨床腫瘍学 (腫瘍内科)	Comparison of clinical features between suspected familial colorectal cancer type X and Lynch syndrome in Japanese patients with colorectal cancer: a cross-sectional study conducted by the Japanese Society for Cancer of the Colon and Rectum.	Jpn J Clin Oncol・45・153・159・2015
87	井樋 栄二	整形外科学分野	Comparison of muscle activity in the empty-can and full-can testing positions using 18 inverted question mark F-FDG PET/CT.	J Orthop Surg Res・9・1・85・85・2014
88	中野 徹	移植・再建・内視鏡外科	Comparison of short-term outcomes between prone and lateral decubitus positions for thoracoscopic esophagectomy	Surg Endosc・2014 Dec 6・2014
89	中野 徹	移植・再建・内視鏡外科	Complications following recurrent laryngeal nerve lymph node dissection in oesophageal cancer surgery	Interact Cardiovasc Thorac Surg・20・1・41・46・2014

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
90	山本 照子	顎口腔矯正学分野	Compressive Force-Produced CCN2 Induces Osteocyte Apoptosis Through ERK1/2 Pathway	J Bone Miner Res・29・5・1244・1257・2014
91	富永悌二	脳神経外科	Concentration rather than dose defines the local brain toxicity of agents that are effectively distributed by convection-enhanced delivery	J Neurosci Methods・222・131・137・2014
92	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Conformational change in transfer RNA is an early indicator of acute cellular damage.	J Am Soc Nephrol・25・10・2316・2326・2014
93	齋木 佳克	心臓血管外科学分野	Contemporary outcome of the surgical management of prosthetic graft infection after a thoracic aortic replacement: is there a room to consider vacuum-assisted wound closure as an alternative?	Gen Thorac Cardiovasc Surg・63・2・86・92・2014
94	外山 裕章	麻酔科	Contralateral pulmonary artery banding after single lobar lung	Ann Thorac Surg・97・4・1429・1431・2014
95	井樋 栄二	整形外科科学分野	Contribution of oxidative stress to the degeneration of rotator cuff entheses.	J Shoulder Elbow Surg・23・5・628・635・2014
96	荒井 陽一	泌尿器科学分野	Controversies associated with the evaluation of elderly men with localized prostate cancer when considering radical prostatectomy.	Int J Clin Oncol・19・5・793・799・2014
97	荒井 陽一	泌尿器科学分野	Controversies in managing localized prostate cancer: introduction.	Int J Clin Oncol・19・5・780・781・2014
98	張替 秀郎	血液・免疫病学分野	Coronary artery bypass grafting in a patient with hemophilia B: continuous recombinant factor IX infusion as per the Japanese guidelines for replacement therapy	Gen Thorac Cardiovasc Surg・2014
99	富永悌二	脳神経外科	Craniopharyngiomas Presenting with Nonobstructive Hydrocephalus: Underlying Influence of Subarachnoidal Hemorrhage. Two Case Reports.	J Neurol Surg A Cent Eur Neurosurg・2014

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
100	中澤 徹	眼科学分野	Critical neuroprotective roles of heme oxygenase-1 induction against axonal injury-induced retinal ganglion cell death.	J Neurosci Res・92・9・1134・1142・2014
101	下川 宏明	循環器内科学	Crucial role of rho-kinase in pressure overload-induced right ventricular hypertrophy and dysfunction in mice	Arterioscler. Thromb. Vasc. Biol.・34・6・1260・1271・2014
102	濱田 晋	消化器病態学分野	CUB-domain containing protein 1 represses the epithelial phenotype of pancreatic cancer cells	Exp. Cell Res.・321・2・209・218・2014
103	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Cutoff serum pepsinogen values for predicting gastric acid secretion status.	Tohoku J Exp Med・232・4・293・300・2014
104	富永悌二	脳神経外科	Cytogenetic prognostication within medulloblastoma subgroups	J Clin Oncol・32・9・886・896・2014
105	小澤 洋平	食道・消化器外科	Cytoplasmic hepatocyte growth factor immunoreactivity predicting lymph node metastasis in esophageal squamous cell carcinoma	Esophagus・11・223・230・2014
106	小澤 洋平	食道・消化器外科	Decreased Expression of ARID1A Contributes to Infiltrative Growth of Esophageal Squamous Cell Carcinoma	Tohoku J. Exp. Med.・235・3・185・191・2015
107	富永悌二	脳神経外科	Development of a de novo arteriovenous malformation after bilateral revascularization surgery in a child with moyamoya disease	J Neurosurg Pediatr・13・6・647・649・2014
108	富永悌二	脳神経外科	Development of moyamoya disease in pregnancy and puerperium: case report	Neurol Med Chir (Tokyo)・54・10・824・826・2014
109	井樋 栄二	整形外科学分野	Diagnosis of small partial-thickness rotator cuff tears using vibro-acoustography	J. Med. Ultrason.・2014

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
110	富永悌二	脳神経外科	Diagnostic pitfalls of hyperprolactinemia: the importance of sequential pituitary imaging	BMC Res Notes・7・555・2014
111	小嶋 郁穂	口腔診断学分野	Diagnostic value of capsule-like rim enhancement on magnetic resonance imaging for distinguishing malignant from benign parotid tumors	International Journal of Oral & Maxillofacial surgery・43・1035・1041・2014
112	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Different expression of 11 β -hydroxylase and aldosterone synthase between aldosterone-producing microadenomas and macroadenomas.	Hypertension・64・2・438・444・2014
113	外山 裕章	麻酔科	Dislocated dental bridge covering the larynx: usefulness of tracheal tube guides under video-assisted laryngoscopy for induction of general anesthesia, thus avoiding tracheostomy.	Head Face Med.・10・1・23・26・2014
114	荒井 陽一	泌尿器科学分野	Docetaxel, cisplatin and 5-fluorouracil chemotherapy with concurrent radiation for unresectable advanced urethral carcinoma.	Int J Urol・21・4・422・424・2014
115	中島 信久	緩和医療学分野	Does the approach of disclosing more detailed information of cancer for the terminally ill patients improve the quality of communication involving patients, families, and medical professionals.	American Journal of Hospice and Palliative Medicine・2014
116	川岸 直樹	移植外科	Donors' Quality of Life Evaluated by Short Form-36 Analysis After Living Donor Liver Transplantation in a Single-Center Experience	Transplant Proc.・46・3・675・677・2014
117	下川 宏明	循環器内科学	Dual roles of vascular-derived reactive oxygen species-With a special reference to hydrogen peroxide and cyclophilin A-	J. Mol. Cell. Cardiol.・73・50・56・2014
118	富永悌二	脳神経外科	Early response to chemotherapy as an indicator for the management of germinoma-like tumors of the pineal and/or suprasellar regions	J Clin Neurosci・21・1・124・130・2014
119	下瀬川 徹	消化器病態学分野	EBM-based Clinical Guidelines for Pancreatic Cancer (2013) issued by the Japan Pancreas Society: a synopsis.	Jpn J Clin Oncol・44・10・883・888・2014

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
120	宮澤 恒持	移植外科	Edaravone, a free radical scavenger, improves the graft viability on liver transplantation from non-heart-beating donors in pigs	Transplantation Proceedings・46・4・1090・1094・2014
121	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Effect of a hydrogen (H ₂)-enriched solution on the albumin redox of hemodialysis patients.	Hemodial Int・18・2・459・466・2014
122	高山 真	総合地域医療教育支援部	Effect of press needles on swallowing reflex in older adults with cerebrovascular disease: a randomized double-blind controlled trial.	J Am Geriatr Soc・62・12・2438・2440・2014
123	福土審	心療内科	Effect of ramosetron on stool consistency in male patients with irritable bowel syndrome with diarrhea.	Clin Gastroenterol Hepatol・12・6・953・959・2014
124	高山 真	総合地域医療教育支援部	Effects of acupuncture on sensory perception: a systematic review and meta-analysis.	PLoS One・9・12・e113731・e113731・2014
125	富永悌二	脳神経外科	Effects of extracranial-intracranial bypass for patients with hemorrhagic moyamoya disease: results of the Japan Adult Moyamoya Trial	Stroke・45・5・1415・1421・2014
126	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Effects of oral ingestion of the elemental diet in patients with painful chronic pancreatitis in the real-life setting in Japan.	Pancreas・43・3・451・457・2014
127	荒井 陽一	泌尿器科学分野	Effects of phosphodiesterase type 5 inhibitor, tadalafil, on continence reflex in rats.	Int Urogynecol J・25・12・1721・1727・2014
128	野村 亮介	高度救命救急センター	Efficacy of a high FFP:PRBC transfusion ratio on the survival of severely injured patients: a retrospective study in a single tertiary emergency center in Japan.	Surg Today・44・4・653・661・2014
129	中澤 徹	眼科学分野	Efficacy of chandelier illumination for combined cataract operation and penetrating keratoplasty	Cornea・34・3・275・278・2015

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
130	富永 悌二	脳神経外科	Efficacy of extracranial-intracranial bypass for progressive middle cerebral artery occlusion associated with active Sjögren's syndrome: case report	J Stroke Cerebrovasc Dis・23・8・399・402・2014
131	井樋 栄二	整形外科科学分野	Efficacy of methotrexate and tumor necrosis factor inhibitors in Japanese patients with active psoriatic arthritis.	Mod Rheumatol・25・3・431・434・2014
132	富永 悌二	脳神経外科	Efficacy of superficial temporal artery-middle cerebral artery double anastomoses in a patient with rapidly progressive moyamoya disease: case report	Neurol Med Chir (Tokyo)・54・10・836・840・2014
133	荒井 陽一	泌尿器科学分野	Efficiency of pretreatment risk stratification systems for prostate cancer in a Japanese population treated with radical prostatectomy.	Int J Urol・22・1・70・73・2015
134	野上 晋之介	顎顔面外科学分野	Elderly patients with maxillofacial trauma: study of mandibular condyle fractures.	Dent Traumatol・31・1・73・76・2015
135	富永 悌二	脳神経外科	Electro- and magneto-encephalographic spike source localization of small focal cortical dysplasia in the dorsal perirolandic region	Clin Neurophysiol・125・12・2358・2363・2014
136	下川 宏明	循環器内科学	Emergency care of acute myocardial infarction and the great east Japan earthquake disaster Report from the miyagi AMI registry study	Circ. J.・78・3・634・643・2014
137	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Endoscopic approaches for the diagnosis of autoimmune pancreatitis.	Dig Endosc・27・2・250・258・2015
138	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Endoscopic balloon dilatation for pharyngo-upper esophageal stricture after treatment of head and neck cancer.	Dig Endosc・27・3・310・316・2015
139	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Endoscopic findings for predicting gastric acid secretion status.	Dig Endosc・27・5・582・589・2014

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
140	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Endoscopic submucosal dissection for colorectal neoplasia during the clinical learning curve.	Surg Endosc・28・7・2120・2128・2014
141	下川 宏明	循環器内科学	Endothelial AMP-activated protein kinase regulates blood pressure and coronary flow responses through hyperpolarization mechanism in mice.	Arterioscler Thromb Vasc Biol・34・7・1505・1513・2014
142	下川 宏明	循環器内科学	Enhanced [18F]fluorodeoxyglucose accumulation in the right ventricular free wall predicts long-term prognosis of patients with pulmonary hypertension: A preliminary observational study	Eur. Heart J. Cardiovasc. Imaging・15・6・666・672・2014
143	富永 悌二	脳神経外科	Enhanced post-ischemic angiogenesis in mice lacking RNF213; a susceptibility gene for moyamoya disease	Brain Res・1594・310・320・2014
144	森 士朗	歯科顎口腔外科	Epigallocatechin gallate inhibits oxidative stress-induced DNA damage and apoptosis in MRL-Fas(lpr) mice with autoimmune sialadenitis via upregulation of heme oxygenase-1 and Bcl-2	Autoimmunity・47・1・13・22・2014
145	中村 卓史	小児発達歯科学分野	Epiprofin orchestrates epidermal keratinocyte proliferation and differentiation.	J Cell Sci・127・24・5261・5272・2014
146	仁尾正記	小児外科	Establishment of educational program for multiorgan procurement from deceased donors.	Transplant Proc・46・4・1071・1073・2014
147	齋藤 幹	小児歯科	Establishment of ex vivo mucocoele model using salivary gland organ culture	Pediatric Dental Journal・24・2・78・82・2014
148	野上 晋之介	顎顔面外科学分野	Evaluation of mandibular reconstruction with particulate cancellous bone marrow and titanium mesh after mandibular resection due to tumor surgery	Implant Dentistry・23・2・108・115・2014
149	新倉 仁	婦人科学分野	Evaluation of postoperative chemotherapy in patients with uterine carcinosarcoma: a retrospective survey of the Tohoku Gynecologic Cancer Unit.	Int J Clin Oncol・20・3・574・578・2014

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
150	富永悌二	脳神経外科	Evaluation of Stability and Effect of Gripping Method on a Laser-Induced Liquid Jet Hand Applicator for Usability Improvement	Proceedings of the Human Factors and Ergonomics Society 58th Annual Meeting・58・1・1786・1789・2014
151	齋藤 幹	小児歯科	Evaluation of the optimal exposure settings for occlusal photography with digital cameras	Pediatric Dental Journal・24・2・89・96・2014
152	井樋 栄二	整形外科学分野	Evaluation of the thickness of the medial ulnar collateral ligament in junior high and high school baseball players	J. Med. Ultrason.・2014
153	野上 晋之介	顎顔面外科学分野	Evaluation of the treatment modalities for neurosensory disturbances of the inferior alveolar nerve following retromolar bone harvesting for bone augmentation.	Pain Med・16・3・501・512・2015
154	下川 宏明	循環器内科学	Evidence for brain activation in patients with takotsubo cardiomyopathy	Circ. J.・78・1・256・258・2014
155	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Evidence-based clinical practice guidelines for irritable bowel syndrome.	J Gastroenterol・50・1・11・30・2015
156	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Evidence-based clinical practice guidelines for management of colorectal polyps.	J Gastroenterol・50・3・252・260・2015
157	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Exonic mutations in the SLC12A3 gene cause exon skipping and premature termination in Gitelman syndrome.	J Am Soc Nephrol・26・2・271・279・2015
158	富永悌二	脳神経外科	Experimental Application of Piezoelectric Actuator-Driven Pulsed Water Jets in Retinal Vascular Surgery	Transl Vis Sci Technol・3・6・1・8・2014
159	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Expression of EpCAM increases in the hepatitis B related and the treatment-resistant hepatocellular carcinoma.	Biomed Res Int・2014・172913・172913・2014

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
160	下川 宏明	循環器内科学	Extracorporeal Low-Energy Shock-Wave Therapy Exerts Anti-Inflammatory Effects in a Rat Model of Acute Myocardial Infarction.	Circ J・78・12・2915・2925・2014
161	下川 宏明	循環器内科学	Factors influencing the occurrence of cardiopulmonary arrest in the Great East Japan Earthquake disaster.	Int J Cardiol・177・2・569・572・2014
162	井樋 栄二	整形外科学分野	Feasibility assessment of shear wave elastography to rotator cuff muscle.	Clin Anat・28・2・213・218・2015
163	中島 一郎	神経内科学分野	Features of anti-aquaporin 4 antibody-seronegative Thai patients with neuromyelitis optica spectrum disorders: a comparison with seropositive cases.	J Neurol Sci・341・42006・17・21・2014
164	齋藤 正寛	歯科保存学分野	Functional tooth restoration by next-generation bio-hybrid implant as a bio-hybrid artificial organ replacement therapy.	Sci Rep. ・13・4・6044・2014
165	福土 審	心療内科	Gastrointestinal specific anxiety in irritable bowel syndrome: validation of the Japanese version of the visceral sensitivity index for university students.	Biopsychosoc Med ・8・1・10・10・2014
166	海野 倫明	消化器外科学分野	Gastrointestinal toxicities of 5-fluorouracil increase the proportion of regulatory T cells in intestinal tract: advantages of alternate-day S-1 administration.	Int J Clin Oncol・2015
167	渡邊 みか	病理部	GATA4 immunolocalization in breast carcinoma as a potent prognostic predictor.	Cancer Sci・105・5・600・607・2014
168	下川 宏明	循環器内科学	Gender differences in clinical characteristics, treatment and long-term outcome in patients with stage C/D heart failure in Japan. Report from the CHART-2 study.	Circ J・78・2・428・435・2014
169	富永 悌二	脳神経外科	Genetics and Biomarkers of Moyamoya Disease: Significance of RNF213 as a Susceptibility Gene	J Stroke ・16・2・65・72・2014

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
170	笹原 洋二	小児病態学分野	GNE myopathy associated with congenital thrombocytopenia: a report of two siblings.	Neuromuscular Disord.・24・12・1068・1072・2014
171	森 士朗	歯科顎口腔外科	Guanine nucleotide-binding protein 1 is one of the key molecules contributing to cancer cell radioresistance	Cancer Sci・105・10・1351・1359・2014
172	飯塚 統	リハビリテーション部	Hallucinators find meaning in noises: pareidolic illusions in dementia with Lewy bodies.	Neuropsychologia・56・245・254・2014
173	下瀬川 徹	消化器病態学分野	HCV infection enhances Th17 commitment, which could affect the pathogenesis of autoimmune diseases.	PLoS One・9・6・e98521・e98521・2014
174	齋木 佳克	心臓血管外科学分野	Heart donation in Japan before and after the revision of the Japanese Transplantation Act.	Transplant Proc・46・6・2050・2053・2014
175	下川 宏明	循環器内科学	High-sensitivity C-reactive protein: still need for next-generation biomarkers for remote future cardiovascular events.	Eur Heart J・35・27・1776・1778・2014
176	下川 宏明	循環器内科学	Histopathological examination by lung biopsy for the evaluation of operability and postoperative prognosis in patients with chronic thromboembolic pulmonary hypertension	Circ. J.・78・2・476・482・2014
177	張替 秀郎	血液・免疫病学分野	Human CD43+B cells are closely related not only to memory B cells phenotypically but also to plasmablasts developmentally in healthy individuals	Int Immunol・27・7・345・355・2015
178	張替 秀郎	血液・免疫病学分野	Human marrow stromal cells downsize the stem cell fraction of lung cancers by fibroblast growth factor 10	Mol Cell Biol・34・15・2848・2856・2014
179	中野 徹	移植・再建・内視鏡外科	Hyperosmolar hyperglycemic nonketotic coma after chemoradiotherapy for esophageal cancer.	Esophagus・11・273・276・2014

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
180	荒井 陽一	泌尿器科学分野	Hypoglycemia Caused by Recurrent Renal Cell Carcinoma As Result of Production of High Molecular Weight Insulin-Like Growth Factor 2.	J Clin Oncol・2014
181	富永 悌二	脳神経外科	Hypothermia in Victims of the Great East Japan Earthquake: A Survey in Miyagi Prefecture.	Disaster Med Public Health Prep・8・5・379・389・2014
182	野上 晋之介	顎顔面外科学分野	Identification and adjustment of experimental occlusal interference using functional magnetic resonance imaging	BMC Oral Health・2014
183	下川 宏明	循環器内科学	Identification and visualization of stimulus-specific transcriptional activity in cardiac hypertrophy in mice	Int. J. Card. Imaging・30・1・211・219・2014
184	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Identification of a high-risk group for low-dose aspirin-induced gastropathy by measuring serum pepsinogen in H. pylori-infected subjects.	J Gastroenterol・50・3・305・312・2015
185	笹原 洋二	小児病態学分野	Identification of acquired mutations by whole-genome sequencing in GATA-2 deficiency evolving into myelodysplasia and acute leukemia.	Ann Hematol・93・9・1515・1522・2014
186	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Ileocecal ulcers accompanied by relapsing polychondritis: a case report.	Springerplus・3・714・714・2014
187	福土 審	心療内科	Immunolocalization of corticotropin-releasing hormone (CRH) and its receptors (CRHR1 and CRHR2) in human endometrial carcinoma: CRHR1 as a potent prognostic factor.	Int J Gynecol Cancer・24・9・1549・1557・2014
188	下川 宏明	循環器内科学	Impact of elevated heart rate on clinical outcomes in patients with heart failure with reduced and preserved ejection fraction: A report from the CHART-2 Study	Eur. J. Heart Fail.・16・3・309・316・2014
189	和田 基	小児外科	Impact of intestinal transplantation for intestinal failure in Japan.	Transplant Proc.・46・6・2122・2124・2014

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
190	中西 史	移植外科	Impact of the 2011 Great East Japan Earthquake on the Resumption of Alcohol Consumption After Living-Donor Liver Transplantation for Alcohol Cirrhosis: A Report of Two Cases	Transplantation Proceedings・46・3・992・994・2014
191	井樋 栄二	整形外科学分野	In vivo measurement of rotator cuff tendon strain with ultrasound elastography: an investigation using a porcine model.	J Ultrasound Med・33・9・1641・1646・2014
192	下川 宏明	循環器内科学	In vivo visualization of adventitial vasa vasorum of the human coronary artery on optical frequency domain imaging.	Circ J・78・10・2516・2518・2014
193	藤井 里圭	乳腺外科	Increased androgen receptor activity and cell proliferation in aromatase inhibitor-resistant breast carcinoma	J Steroid Biochem Mol Biol・144・513・522・2014
194	富永 悌二	脳神経外科	Increased vascular MMP-9 in mice lacking RNF213: moyamoya disease susceptibility gene	Neuroreport・25・18・1442・1446・2014
195	中保 利通	緩和医療学分野	Indications and practice of artificial hydration for terminally ill cancer patients.	Curr Opin Support Palliat Care・8・4・358・363・2014
196	中野 徹	移植・再建・内視鏡外科	Indocyanine green fluorescence and three-dimensional imaging of right gastropiploic artery in gastric tube cancer	World J Gastroenterol・7・21・369・372・2015
197	濱田 晋	消化器病態学分野	Inflammation and pancreatic cancer: Disease promoter and new therapeutic target	J. Gastroenterol.・49・4・605・617・2014
198	山本 照子	顎口腔矯正学分野	Inhibitory effect of neutralization of macrophage colony-stimulating factor in mechanical loading induced osteoclastogenesis and odontoclastogenesis.	Transactions of the Japanese Society for Medical and Biological Engineering.・52・Suppl. 1・O208・O209・2014
199	小嶋 郁穂	口腔診断学分野	Insulin-like growth factor I inhibits alveolar bone loss following tooth extraction in rats	Clinical Implant Dentistry and Related Research・2014

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
200	富永悌二	脳神経外科	Intracerebral cystic rhabdoid papillary meningioma in an 11-year-old patient.	Childs Nerv Syst・30・12・2151・2155・2014
201	佐藤 尚明	産科	Intrauterine Ischemic Reperfusion Switches the Fetal Transcriptional Pattern from HIF-1 α -to P53-Dependent Regulation in the Murine Brain	PLoS One・9・10・e110577・2014
202	井樋 栄二	整形外科学分野	In-vitro biomechanical evaluation of stress shielding and initial stability of a low-modulus hip stem made of beta type Ti-33.6Nb-4Sn alloy.	Med Eng Phys・36・12・1665・1671・2014
203	濱田 晋	消化器病態学分野	Involvement of epithelial to mesenchymal transition in the development of pancreatic ductal adenocarcinoma	J. Gastroenterol.・50・2・140・146・2014
204	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Involvement of luminal nitric oxide in the pathogenesis of the gastroesophageal reflux disease spectrum.	J Gastroenterol Hepatol・29・5・898・905・2014
205	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Involvement of miRNA-29a in epigenetic regulation of transforming growth factor-beta-induced epithelial-mesenchymal transition in hepatocellular carcinoma.	Hepatol Res・44・8・907・919・2014
206	福土審	心療内科	Irritable bowel syndrome is positively related to metabolic syndrome: a population-based cross-sectional study.	PLoS One・9・11・e112289・e112289・2014
207	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Ischemia/reperfusion of unilateral kidney exaggerates aging-induced damage to the heart and contralateral kidney.	Nephron Exp Nephrol・126・4・183・190・2014
208	齋藤 正寛	歯科保存学分野	Isolation and characterization of the human immature osteoblast culture system from the alveolar bones of aged donors for bone regeneration therapy	Expert Opin Biol Ther.・14・12・1731・1744・2014
209	石岡千加史	臨床腫瘍学 (腫瘍内科)	KRAS mutation in patients with metastatic colorectal cancer does not preclude benefit from oxaliplatin- or irinotecan-based treatment	Mol Clin Oncol・2・356・362・2014

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
210	下川 宏明	循環器内科学	Light and dark of reactive oxygen species for vascular function	J. Cardiovasc. Pharmacol.・65・5・412・418・2014
211	佐々木 英之	小児外科	Liver transplantation following the Kasai procedure in treatment of biliary atresia: a single institution analysis.	Pediatr Surg Int.・30・9・871・875・2014
212	張替 秀郎	血液・免疫病学分野	Long-term outcome of patients with acquired chronic pure red cell aplasia(PRCA) following immunosuppressive therapy: a final report of the nationwide cohort study in 2004/2006 by the Japan PRCA collaborative study group	Br J Haematol.・169・6・879・886・2015
213	荒井 陽一	泌尿器科学分野	Long-term quality of life after radical prostatectomy: 8-Year longitudinal study in Japan.	Int J Urol.・21・12・1220・1226・2014
214	藤尾 淳	移植外科	Long-term survival with growth hormone replacement after liver transplantation of pediatric nonalcoholic steatohepatitis complicating acquired hypopituitarism	Tohoku Journal of Experimental Medicine.・235・1・61・67・2015
215	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野	Loop-mediated isothermal amplification assay for 16S rRNA methylase genes in Gram-negative bacteria.	J Infect Chemother.・20・10・635・638・2014
216	荒井 陽一	泌尿器科学分野	Low Percentage of Free Prostate-specific Antigen (PSA) Is a Strong Predictor of Later Detection of Prostate Cancer Among Japanese Men With Serum Levels of Total PSA of 4.0 ng/mL or Less.	Urology.・84・5・1163・1167・2014
217	荒井 陽一	泌尿器科学分野	Low-dose maintenance gemcitabine-carboplatin chemotherapy could be an alternative to continuous standard chemotherapy for patients with metastatic urothelial carcinoma.	Int J Urol.・21・11・1114・1119・2014
218	井樋 栄二	整形外科学分野	Low-energy extracorporeal shock wave therapy promotes vascular endothelial growth factor expression and improves locomotor recovery after spinal cord injury.	J Neurosurg.・121・6・1514・1525・2014
219	下川 宏明	循環器内科学	Low-intensity pulsed ultrasound induces angiogenesis and ameliorates left ventricular dysfunction in a porcine model of chronic myocardial ischemia.	PLoS One.・9・8・e104863・e104863・2014

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
220	渡邊 みか	病理部	Luminal-type breast cancer: correlation of apparent diffusion coefficients with the Ki-67 labeling index.	Radiology・274・1・66・73・2015
221	渡邊 みか	病理部	Malignant clinical features of anaplastic gliomas without IDH mutation.	Neuro Oncol・17・1・136・144・2015
222	渡邊 みか	病理部	Maximum preservation of the media in carotid endarterectomy.	Neurol Med Chir (Tokyo)・54・10・812・818・2014
223	富永 悌二	脳神経外科	Measurement and analysis of internal stress distributions created in gelatin simulated-brain tissue by a pulsed laser-induced liquid jet	Conf Proc IEEE Eng Med Biol Soc・4419・4422・2014
224	山本 照子	顎口腔矯正学分野	Mechanical forces induce odontoblastic differentiation of mesenchymal stem cells on three-dimensional biomimetic scaffolds.	J Tissue Eng Regen Med・2014
225	富永 悌二	脳神経外科	Mechanics of the injected pulsejet into gelatin gel and evaluation of the effect by puncture and crack generation and growth	J Appl Phys・116・74901・2014
226	笹原 洋二	小児病態学分野	Mesenchymal chondrosarcoma diagnosed on FISH for HEY1-NCOA2 fusion gene.	Pediatr Int・56・5・e55・e57・2014
227	鈴木 史彦	婦人科学分野	MicroRNA-101 targets EZH2, MCL-1 and FOS to suppress proliferation, invasion and stem cell-like phenotype of aggressive endometrial cancer cells.	Oncotarget・5・15・6049・6062・2014
228	古川勝敏	老年医学分野 老年科	MicroRNAs in plasma and cerebrospinal fluid as potential markers for Alzheimer's disease.	J Alzheimers Dis・39・2・253・259・2014
229	富永 悌二	脳神経外科	Minocycline prevents focal neurological deterioration due to cerebral hyperperfusion after extracranial-intracranial bypass for moyamoya disease	Neurosurgery・74・2・163・170・2014

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
230	濱田 晋	消化器病態学分野	MiR-365 induces gemcitabine resistance in pancreatic cancer cells by targeting the adaptor protein SHC1 and pro-apoptotic regulator BAX	Cell. Signal.・26・2・179・185・2014
231	中島 一郎	神経内科学分野	MOG-IgG serological status matters in paediatric ADEM.	J Neurol Neurosurg Psychiatry・86・3・242・2014
232	中澤 徹	眼科学分野	Molecular and cellular features of murine craniofacial and trunk neural crest cells as stem cell-like cells.	PLoS One・9・1・e84072・e84072・2014
233	飯田 溪太	産科	Molecular patterns of neurodevelopmental preconditioning: a study of the effects of antenatal steroid therapy in a protein-restriction mouse model	ISRN Obstetrics and Gynecology・2014
234	福土 審	心療内科	Motility response to colonic distention is increased in postinfectious irritable bowel syndrome (PI-IBS).	Neurogastroenterol Motil・26・5・696・704・2014
235	富永 悌二	脳神経外科	Moyamoya syndrome associated with Basal meningioma successfully treated by the modified transsphenoidal approach: case report	J Neurol Surg Rep・75・1・77・80・2014
236	岡本 宏	食道・消化器外科	Murine double minute 2 predicts response of advanced esophageal squamous cell carcinoma to definitive chemoradiotherapy	BMC Cancer・15・208・2015
237	井樋 栄二	整形外科学分野	Muscle activity pattern of the shoulder external rotators differs in adduction and abduction: an analysis using positron emission tomography.	J Shoulder Elbow Surg・23・5・658・664・2014
238	渡邊 みか	病理部	mutation in patients with metastatic colorectal cancer does not preclude benefit from oxaliplatin-or irinotecan-based treatment.	Mol Clin Oncol・2・3・356・362・2014
239	富永 悌二	脳神経外科	Mutually exclusive mutations of KIT and RAS are associated with KIT mRNA expression and chromosomal instability in primary intracranial pure germinomas	Acta Neuropathol・127・6・911・925・2014

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
240	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Myeloid lineage-specific deletion of antioxidant system enhances tumor metastasis.	Cancer Prev Res (Phila)・7・8・835・844・2014
241	笹原 洋二	小児病態学分野	Myoclonic axial jerks for diagnosing atypical evolution of ataxia telangiectasia.	Brain Dev・37・3・362・365・2014
242	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Nationwide epidemiological survey of acute pancreatitis in Japan.	Pancreas・43・8・1244・1248・2014
243	中澤 徹	眼科学分野	Neuroprotective effect against axonal damage-induced retinal ganglion cell death in apolipoprotein E-deficient mice through the suppression of kainate receptor signaling.	Brain Res・1586・203・212・2014
244	浅野 直喜	消化器内科	NOD2 downregulates colonic inflammation by IRF4-mediated inhibition of K63-linked polyubiquitination of RICK and TRAF6	Mucosal Immunology・7・6・1312・1315・2014
245	浅野 直喜	消化器内科	NOD2 risk-associated polymorphisms in Crohn's disease.	Immunological Reviews・260・1・249・260・2014
246	中村 卓史	小児発達歯科学分野	Novel Hedgehog Agonists Promote Osteoblast Differentiation in Mesenchymal Stem Cells.	J Cell Physiol・230・4・922・929・2014
247	富永 悌二	脳神経外科	Novel pulsed water jet system permits off-clamp partial nephrectomy in swine	Int J Urol・21・11・1181・1182・2014
248	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Novel role of toll-like receptors in Helicobacter pylori - induced gastric malignancy.	World J Gastroenterol・20・18・5244・5251・2014
249	館 正弘	形成外科学分野	Olopatadine inhibits exocytosis in rat peritoneal mast cells by counteracting membrane surface deformation.	Cell Physiol Biochem・35・1・386・396・2015

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
250	渡邊 みか	病理部	Oncocytic adrenocortical neoplasm arising from adrenal rest in the broad ligament of the uterus.	Pathol Int・64・4・183・188・2014
251	中澤 徹	眼科学分野	Ophthalmologic Examinations in Areas of Miyagi Prefecture Affected by the Great East Japan Earthquake.	JAMA Ophthalmol・132・7・874・876・2014
252	山本 照子	顎口腔矯正学分野	Osteocyte function under compressive mechanical force.	Japanese Dental Science Review・50・29・39・2014
253	富永 悌二	脳神経外科	Outcome and mid-term prognosis after maximum and radical removal of craniopharyngiomas with the priority to the extended transsphenoidal approach—a single center experience	Clin Neurol Neurosur・125・41・46・2014
254	齋木 佳克	心臓血管外科学分野	Outcomes of a staged surgical treatment strategy for aorto-esophageal fistula.	Gen Thorac Cardiovasc Surg・63・3・147・152・2014
255	山木 聡史	小児外科	OX40 and IL-7 play synergistic roles in the homeostatic proliferation of effector memory CD4 ⁺ T cells.	Eur J Immunol・44・10・3015・3025・2014
256	井樋 栄二	整形外科学分野	Oxygen tension affects lubricin expression in chondrocytes.	Tissue Eng Part A・20・19・20・2720・2727・2014
257	中島 一郎	神経内科学分野	Pain in neuromyelitis optica—prevalence, pathogenesis and therapy.	Nat Rev Neurol・10・9・529・536・2014
258	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Pathological grading for predicting metastasis in pheochromocytoma and paraganglioma.	Endocr Relat Cancer・21・3・405・414・2014
259	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Pathology of glomerular lipidosi.	Clin Exp Nephrol・18・2・194・196・2014

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
260	佐藤 文俊	腎・高血圧・内分泌科	PCP4: a regulator of aldosterone synthesis in human adrenocortical tissues.	J Mol Endocrinol・52・2・159・167・2014
261	石岡千加史	臨床腫瘍学 (腫瘍内科)	Phase II trial of cetuximab plus irinotecan for oxaliplatin- and irinotecan-based chemotherapy-refractory patients with advanced and/or metastatic colorectal cancer: evaluation of efficacy and safety based on KRAS mutation status (T-CORE0801).	Oncology・87・7・20・2014
262	下川 宏明	循環器内科学	Platelets are highly activated in patients of chronic thromboembolic pulmonary hypertension.	Arterioscler Thromb Vasc Biol・34・11・2486・2494・2014
263	齋木 佳克	心臓血管外科学分野	Post-approval study of a highly pulsed, low-shear-rate, continuous-flow, left ventricular assist device, EVAHEART: a Japanese multicenter study using J-MACS.	J Heart Lung Transplant・33・6・599・608・2014
264	富永悌二	脳神経外科	Practical surgical indicators to identify candidates for radical resection of insulo-opercular gliomas	J Neurosurg・121・5・1124・1132・2014
265	石岡千加史	臨床腫瘍学 (腫瘍内科)	Predicting the structures of complexes between phosphoinositide 3-kinase (PI3K) and romidepsin-related compounds for the drug design of PI3K/histone deacetylase dual inhibitors using computational docking and the ligand-based drug design approach.	J Mol Graph Model・54・46・53・2014
266	富永悌二	脳神経外科	Prediction of neurological recovery in spontaneous spinal epidural hematoma using apparent diffusion coefficient values	Spinal Cord・52・10・729・733・2014
267	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Predictors of decreasing glomerular filtration rate and prevalence of chronic kidney disease after treatment of primary aldosteronism: renal outcome of 213 cases.	J Clin Endocrinol Metab・99・5・1593・1598・2014
268	富永悌二	脳神経外科	Preservation of the Long Insular Artery to Prevent Postoperative Motor Deficits After Resection of Insulo-opercular Glioma: Technical Case Reports	Neurol Med Chir (Tokyo)・54・4・321・326・2014
269	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野	Prevaccination Antibody Screening and Immunization Program for Healthcare Personnel against Measles, Mumps, Rubella, and Varicella in a Japanese Tertiary Care Hospital.	Tohoku J Exp Med・234・2・111・116・2014

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
270	原 康之	移植外科	Prevalence and risk factors of obesity, hypertension, dyslipidemia and diabetes mellitus before and after adult living donor liver transplantation.	Hepatol Res.・45・7・764・770・2015
271	張替 秀郎	血液・免疫病学分野	Prevalence of hepatitis B virus infection in patients with rheumatic diseases in tohoku area: a retrospective multicenter survey	Tohoku J Exp Med・233・2・129・133・2014
272	下川 宏明	循環器内科学	Prevalence, predictors and prognosis of patients with heart failure requiring nursing care ? Report from the CHART-2 study ?	Circ. J.・78・9・2276・2283・2014
273	下川 宏明	循環器内科学	Prevalence, predictors and prognosis of patients with heart failure requiring nursing care.	Circ J・78・9・2276・2283・2014
274	渡邊 みか	病理部	Progesterone Receptor Isoforms A and B in Pancreatic Neuroendocrine Tumor.	Neuroendocrinology・101・4・309・320・2015
275	下川 宏明	循環器内科学	Prognostic impact of chronic nitrate therapy in patients with vasospastic angina: multicentre registry study of the Japanese coronary spasm association.	Eur Heart J・36・4・228・237・2014
276	渡邊 みか	病理部	Prognostic significance of the progesterone receptor status in Ki67-high and -low Luminal B-like HER2-negative breast cancers.	Breast Cancer・2014
277	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Prospective analysis of risk for bleeding after endoscopic biopsy without cessation of antithrombotics in Japan.	Dig Endosc・27・4・458・464・2014
278	中澤 徹	眼科学分野	Pulse-Waveform Analysis of Normal Population using Laser Speckle Flowgraphy.	Curr Eye Res・39・12・1207・1215・2014
279	宮城 重人	移植外科&食道・消化器外科	Pure laparoscopic hepatectomy combined with a pure laparoscopic Pringle maneuver in patients with severe cirrhosis	Case reports in Gastroenterology・9・101・105・2015

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
280	近藤 泰輝	消化器内科	Radiation therapy has been shown to be adaptable for various stages of hepatocellular carcinoma.	World J Gastroenterol・21・1・94・101・2015
281	富永 悌二	脳神経外科	Radiology Diagnostic Devices Under Emergency Electricity Power at Disaster Base Hospitals during acute phase of the Great East Japan Earthquake: Results of a Survey for All of Disaster Base Hospitals in Miyagi Prefecture	Disaster Med Public Health Prep・8・6・548・552・2014
282	井樋 栄二	整形外科科学分野	Radiolucent zone of the patella following total knee arthroplasty without patellar resurfacing.	J Orthop Sci・19・4・558・563・2014
283	富永 悌二	脳神経外科	Rapid and sensitive intraoperative detection of mutations in the isocitrate dehydrogenase 1 and 2 genes during surgery for glioma	J Neurosurg・120・6・1288・1297・2014
284	富永 悌二	脳神経外科	RBPJ is disrupted in a case of proximal 4p deletion syndrome with epilepsy.	Brain Dev.・36・532・536・2014
285	齋木 佳克	心臓血管外科学分野	Real-time monitoring of spinal cord blood flow with a novel sensor mounted on a cerebrospinal fluid drainage catheter in an animal model.	J Thorac Cardiovasc Surg・148・4・1726・1731・2014
286	荒井 陽一	泌尿器科学分野	Reassessment of Prognostic Heterogeneity of pT3 Renal Pelvic Urothelial Carcinoma: Analysis in Terms of Proposed pT3 Subclassification Systems.	J Urol・192・4・1064・1071・2014
287	中島 信久	緩和医療学分野	Recent advances in palliative cancer care at a regional hospital in Japan.	American Journal of Hospice and Palliative Care・31・717・722・2014
288	富永 悌二	脳神経外科	Recurrent Extracranial Internal Carotid Artery Vasospasm Diagnosed by Serial Magnetic Resonance Angiography and Superselective Transarterial Injection of a Calcium Channel Blocker	J Stroke Cerebrovasc Dis・23・5・383・387・2014
289	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Refractory sclerosing mesenteritis involving the small intestinal mesentery: a case report and literature review.	Intern Med・53・13・1419・1427・2014

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
290	中澤 徹	眼科学分野	Regional correlation of macular areas and visual acuity in patients with open angle glaucoma.	Clin Experiment Ophthalmol・43・3・279・282・2014
291	中澤 徹	眼科学分野	Regional structural vulnerability of the macula in patients with normal tension glaucoma.	Clin Experiment Ophthalmol・43・1・89・90・2014
292	中澤 徹	眼科学分野	Regional susceptibility of the optic disc to retinal nerve fibre layer thinning in different optic disc types of eyes with normal tension glaucoma.	Clin Experiment Ophthalmol・43・3・291・293・2014
293	井川 資英	歯内歯周治療学分野	Relation between blood flow and tissue blood oxygenation in human fingertip skin	Microvascular Research・101・135・142・2015
294	山本 照子	顎口腔矯正学分野	Relationship between sleep bruxism and sleep respiratory events in patients with obstructive sleep apnea syndrome.	Sleep and Breathing・18・4・837・844・2014
295	石岡千加史	臨床腫瘍学 (腫瘍内科)	Relationship between smoking and multiple colorectal cancers in patients with Japanese Lynch syndrome: a cross-sectional study conducted by the Japanese Society for Cancer of the Colon and Rectum.	Jpn J Clin Oncol・45・307・310・2015
296	中澤 徹	眼科学分野	Relationship of Skin Autofluorescence to Severity of Retinopathy in Type 2 Diabetes.	Curr Eye Res・40・3・338・345・2014
297	富永 悌二	脳神経外科	Reliability of telecommunications systems following a major disaster: survey of secondary and tertiary emergency institutions in Miyagi Prefecture during the acute phase of the 2011 Great East Japan Earthquake	Prehosp Disaster Med・29・2・204・208・2014
298	佐藤 和重	移植外科	Renal function status in liver transplant patients in the first month post-transplant is associated with progressive chronic kidney disease	Hepatology Research・45・2・220・227・2014
299	井樋 栄二	整形外科学分野	Reoperation rates after fenestration for lumbar spinal canal stenosis: a 20-year period survival function method analysis.	Eur Spine J・24・2・381・387・2014

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
300	下川 宏明	循環器内科学	Reply: Prognostic significance of patients with vasospastic angina	J. Am. Coll. Cardiol.・63・15・1586・1586・2014
301	山本 照子	顎口腔矯正学分野	Resin monomers act as adjuvants in Ni-induced allergic dermatitis in vivo.	J Dent Res.・93・1101・1107・2014
302	下川 宏明	循環器内科学	Resolution of chronic active EBV infection and coexisting pulmonary arterial hypertension after cord blood transplantation.	Bone Marrow Transplant.・49・10・1343・1344・2014
303	佐藤 文俊	腎・高血圧・内分泌科	Response to implementation of rapid cortisol during adrenal vein sampling.	Hypertension.・63・4・e89・2014
304	齋木 佳克	心臓血管外科学分野	Results of the prospective multicenter Japanese bridge to transplant study with a continuous-flow left ventricular assist device.	J Artif Organs.・17・2・142・148・2014
305	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Retinoic acid receptor-alpha up-regulates proopiomelanocortin gene expression in AtT20 corticotroph cells.	Endocr J.・61・11・1105・1114・2014
306	中島 一郎	神経内科学分野	Retrospective analysis of Guillain-Barre syndrome and Fisher syndrome after the Great East Japan Earthquake.	Brain Behav.・4・4・595・597・2014
307	柏舘 俊明	移植外科	Right versus left retroperitoneoscopic living-donor nephrectomy	International Urology and Nephrology.・47・7・1117・1121・2015
308	宮城 重人	移植外科	Risk Factors for Portal Vein Stenosis in Living-Donor Liver Transplantation	Transplantation Proceedings.・46・689・691・2014
309	中澤 徹	眼科学分野	RNA sequence reveals mouse retinal transcriptome changes early after axonal injury.	PLoS One.・9・3・e93258・e93258・2014

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
310	菅野 敦	消化器内科	Role of endoscopy in the diagnosis of autoimmune pancreatitis and immunoglobulin G4-related sclerosing cholangitis.	Dig Endosc・26・5・627・635・2014
311	下川 宏明	循環器内科学	Role of endothelial nitric oxide synthase and collagen metabolism in right ventricular remodeling due to pulmonary hypertension	Circ. J.・78・6・1465・1474・2014
312	下川 宏明	循環器内科学	Role of nitric oxide synthases in the pathogenesis of cardiovascular disease	Folia Pharmacol. Jpn.・143・5・226・231・2014
313	中澤 徹	眼科学分野	Role of the Vision Van, a mobile ophthalmic outpatient clinic, in the Great East Japan Earthquake.	Clin Ophthalmol・8・691・696・2014
314	海野 倫明	消化器外科学分野	Safety of postoperative thromboprophylaxis after major hepatobiliary-pancreatic surgery in Japanese patients.	Surg Today・44・9・1660・1668・2014
315	館 正弘	形成外科学分野	Salicylate inhibits thrombopoiesis in rat megakaryocytes by changing the membrane micro-architecture.	Cell Physiol Biochem・35・6・2371・2382・2015
316	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Sequential analysis of amino acid substitutions with hepatitis B virus in association with nucleoside/nucleotide analog treatment detected by deep sequencing.	Hepatology Res・44・6・678・684・2014
317	中島 一郎	神経内科学分野	Seronegative Neuromyelitis Optica Spectrum--the challenges on disease definition and pathogenesis.	Arq Neuropsiquiatr・72・6・445・450・2014
318	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野	Severe acute otitis media caused by mucoid streptococcus pyogenes in a previously healthy adult.	Tohoku J Exp Med・232・4・301・304・2014
319	井樋 栄二	整形外科学分野	Simultaneous evaluation of articular cartilage and subchondral bone from immobilized knee in rats by photoacoustic imaging system.	J Orthop Sci・20・2・397・402・2015

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
320	齋木 佳克	心臓血管外科学分野	Single-dose rosuvastatin ameliorates lung ischemia-reperfusion injury via upregulation of endothelial nitric oxide synthase and inhibition of macrophage infiltration in rats with pulmonary hypertension.	J Thorac Cardiovasc Surg・149・3・902・909・2014
321	富永 悌二	脳神経外科	SMTP-7, a new thrombolytic agent, decreases hemorrhagic transformation after transient middle cerebral artery occlusion under warfarin anticoagulation in mice	Brain Res・1578・38・48・2014
322	海野 倫明	消化器外科学分野	Somatostatin analog inhibits the growth of insulinoma cells by p27-mediated G1 cell cycle arrest.	Pancreas・43・5・720・729・2014
323	富永 悌二	脳神経外科	Spinal dural arteriovenous shunt presenting with intramedullary hemorrhage: case report	J Neurosurg Spine・20・3・322・326・2014
324	富永 悌二	脳神経外科	Spontaneous Alteration from Rathke's Cleft Cyst to Craniopharyngioma-Possible Involvement of Transformation Between These Pathologies	Endocr Pathol・25・4・422・426・2014
325	中澤 徹	眼科学分野	Stereoscopic analysis of optic nerve head parameters in primary open angle glaucoma: the glaucoma stereo analysis study.	PLoS One・9・6・e99138・e99138・2014
326	石井 正	総合地域医療教育支援部	Streamlining of medical relief to areas affected by the Great East Japan earthquake with the "area-based/line-linking support system".	Prehospital and Disaster Medicine・29・6・614・622・2014
327	遠藤 千顕	呼吸器外科	Successful bilateral lung transplantation after 16 h of lung preservation with EP-TU solution: report of a case.	Surg Today・45・5・630・633・2014
328	張替 秀郎	血液・免疫病学分野	Successful multi-target therapy using corticosteroid, tacrolimus, cyclophosphamide, and rituximab for rapidly progressive interstitial lung disease in a patient with clinically amyopathic dermatomyositis	Mod Rheumatol・29・1・2・2015
329	張替 秀郎	血液・免疫病学分野	Successful use of intensive immunosuppressive therapy for treating simultaneously occurring cerebral lesions and pulmonary arterial hypertension in a patient with systemic lupus erythematosus	Inten Med・53・6・627・631・2014

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
330	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Sudden disappearance of the blood flow in a case of pancreatic acinar cell carcinoma.	Intern Med・53・22・2589・2593・2014
331	海野 倫明	消化器外科学分野	Suppressive expression of CD274 increases tumorigenesis and cancer stem cell phenotypes in cholangiocarcinoma.	Cancer Sci・105・6・667・674・2014
332	富永 悌二	脳神経外科	Surgical management of traumatic acute subdural hematoma in adults: a review	Neurol Med Chir (Tokyo)・54・11・887・894・2014
333	田頭 真実	甲状腺外科	Synergistic Effect of Neutral Protease and Clostripain on Rat Pancreatic Islet Isolation	Transplantation・99・7・1349・1355・2015
334	濱田 晋	消化器病態学分野	Targeted Next-Generation Sequencing Effectively Analyzed the Cystic Fibrosis Transmembrane Conductance Regulator Gene in Pancreatitis	Dig. Dis. Sci.・60・5・1297・1307・2014
335	森 士朗	歯科顎口腔外科	Targeting of tumor endothelial cells combining 2 Gy/day of X-ray with Everolimus is the effective modality for overcoming clinically relevant radioresistant tumors	Cancer Med・3・2・310・321・2014
336	富永 悌二	脳神経外科	Temporal profile of the vascular anatomy evaluated by 9.4-T magnetic resonance angiography and histopathological analysis in mice lacking RNF213: a susceptibility gene for moyamoya disease	Brain Res・1552・64・71・2014
337	富永 悌二	脳神経外科	The association of subventricular zone involvement at recurrence with survival after repeat surgery in patients with recurrent glioblastoma	Neurol Med Chir (Tokyo) 54(4): 302-309, 2014・54・4・302・309・2014
338	下川 宏明	循環器内科学	The circulation journal in the world	Circ. J.・78・1・1・3・2014
339	森 士朗	歯科顎口腔外科	The combination of intralymphatic chemotherapy with ultrasound and nano/microbubbles is efficient in the treatment of experimental tumors in mouse lymph nodes. Ultrasound in Medicine and Biology	Ultrasound in Medicine and Biology・40・6・1237・1249・2014

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
340	中野 徹	移植・再建・内視鏡外科	The dissection profile and mechanism of tissue-selective dissection of the piezo actuator-driven pulsed water jet as a surgical instrument: laboratory investigation using Swine liver.	Eur Surg Res・53・42008・61・72・2014
341	野上 晋之介	顎顔面外科学分野	The Effect of Decortication for Periosteal Expansion Osteogenesis Using Shape Memory Alloy Mesh Device.	Clin Implant Dent Relat Res・2014
342	中澤 徹	眼科学分野	The effect of intravitreal bevacizumab on ocular blood flow in diabetic retinopathy and branch retinal vein occlusion as measured by laser speckle flowgraphy.	Clin Ophthalmol・8・1119・1127・2014
343	中澤 徹	眼科学分野	The effect of podoplanin inhibition on lymphangiogenesis under pathological conditions.	Invest Ophthalmol Vis Sci・55・8・4813・4822・2014
344	下瀬川 徹	消化器病態学分野	The Effectiveness of Self-Expandable Metallic Stent Insertion in Treating Right-Sided Colonic Obstruction: A Comparison between SEMS and Decompression Tube Placement and an Investigation of the Safety and Difficulties of SEMS Insertion in Right Colons.	Gastroenterol Res Pract・2014・372918・372918・2014
345	宮城 重人	移植外科	The Effects of Endothelial Cells-Preserving Technique on Microsurgical Vascular Reconstruction in Biliary Tract Malignancy: Report of Twenty Cases	Case Rep Gastroenterol・8・18・25・2014
346	吉田 諭	移植外科	The Influence of Collagen III Expression on the Efficiency of Cell Isolation With the Use of Collagenase H	Transplantation Proceedings・46・1942・1944・2014
347	松井 桂子	口腔外科学分野	The regenerated bone quality by implantation of octacalcium phosphate collagen, composites (OCP/Col) in a canine alveolar cleft model	Cleft Palate-Craniofacial Journal・51・4・420・430・2014
348	齋木 佳克	心臓血管外科学分野	The registry report of heart transplantation in Japan (1999-2013).	Circ J・78・11・2604・2609・2014
349	中澤 徹	眼科学分野	The role of calpain in an in vivo model of oxidative stress-induced retinal ganglion cell damage.	Biochem Biophys Res Commun・451・4・510・515・2014

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
350	石井 正	総合地域医療教育支援部	The role of integrative medicine and Kampo treatment in an aging society: experience with Kampo treatment during a natural disaster.	Nihon Ronen Igakkai Zasshi・51・2・128・131・2014
351	下瀬川 徹	消化器病態学分野	The seventh nationwide epidemiological survey for chronic pancreatitis in Japan: clinical significance of smoking habit in Japanese patients.	Pancreatology・14・6・490・496・2014
352	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野	The survival of influenza A(H1N1)pdm09 virus on 4 household surfaces.	Am J Infect Control・42・4・423・425・2014
353	中澤 徹	眼科学分野	The traditional kampo medicine tokishakuyakusan increases ocular blood flow in healthy subjects.	Evid Based Complement Alternat Med・2014・586857・586857・2014
354	廣田 衛久	消化器内科	The usefulness of endoscopic ultrasound-guided fine needle aspiration for the diagnosis of pancreatic neuroendocrine tumors based on the World Health Organization classification.	Scand J Gastroenterol・49・11・1367・1374・2014
355	中島 信久	緩和医療学分野	The volume of hydration in terminally ill cancer patients with hydration-related symptoms: a prospective study.	Journal of Palliative Medicine・17・9・1037・1041・2014
356	濱田 晋	消化器病態学分野	The zinc transporter LIV-1 is a novel regulator of stemness in pancreatic cancer cells	Scand. J. Gastroenterol.・49・2・215・221・2014
357	飯田 溪太	産科	Theoretical study on the translation and rotation of an elliptic camphor particle	Physica D・272・39・50・2014
358	齋木 佳克	心臓血管外科学分野	Therapeutic strategy for treating aortoesophageal fistulas.	Gen Thorac Cardiovasc Surg・62・10・573・580・2014
359	齋木 佳克	心臓血管外科学分野	Thoracic and cardiovascular surgery in Japan during 2012 : annual report by The Japanese Association for Thoracic Surgery.	Gen Thorac Cardiovasc Surg・62・12・734・764・2014

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
360	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Three cases of adult-onset type II citrullinemia treated with different therapies: Efficacy of sodium pyruvate and low-carbohydrate diet.	Hepatol Res・44・6・707・712・2014
361	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Time series analysis of gastric acid secretion over a 20-year period in normal Japanese men.	J Gastroenterol・50・8・853・861・2014
362	渡邊 みか	病理部	Tissue concentrations of estrogens and aromatase immunolocalization in interstitial pneumonia of human lung.	Mol Cell Endocrinol・392・42006・136・143・2014
363	猪狩 和子	障害者歯科治療部	Tongue Pressure During Swallowing in Adults with Down Syndrome and Its Relationship with Palatal Morphology	Dysphasia・29・509・518・2014
364	石井 正	総合地域医療教育支援部	Traditional Japanese medicine daikenchuto improves functional constipation in poststroke patients.	Evid Based Complement Alternat Med・2014・231258・231258・2014
365	富永悌二	脳神経外科	Transformation of adult cerebellar pilocytic astrocytoma to glioblastoma	Brain Tumor Pathol・31・2・108・112・2014
366	石岡千加史	臨床腫瘍学 (腫瘍内科)	Transgenic expression of the N525S-tuberin variant in Tsc2 mutant (Eker) rats causes dominant embryonic lethality.	Sci Rep・4・5927・2014
367	川岸 直樹	移植外科	TRANSPLANTATION FOR HEPATOCELLULAR CARCINOMA	Therapy for hepatocellular carcinoma・5・127・158・2014
368	石井 正	総合地域医療教育支援部	Treatment of posttraumatic stress disorder using the traditional Japanese herbal medicine saikokeishikankyoto: a randomized, observer-blinded, controlled trial in survivors of the great East Japan earthquake and tsunami.	Evid Based Complement Alternat Med・2014・683293・683293・2014
369	富永悌二	脳神経外科	Treatment outcomes in glioblastoma patients aged 76 years or older: a multicenter retrospective cohort study	J Neurooncol・116・2・299・306・2014

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
370	宮下 穰	乳腺外科	Tumor-infiltrating CD8+ and FOXP3+ lymphocytes in triple-negative breast cancer: its correlation with pathological complete response to neoadjuvant chemotherapy	Breast Cancer Research and Treatment・148・3・525・534・2014
371	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野	Twelve-year survey (2001-2012) of the antimicrobial susceptibility of Streptococcus pneumoniae isolates from otorhinolaryngology clinics in Miyagi Prefecture, Japan.	J Infect Chemother・20・11・702・708・2014
372	井樋 栄二	整形外科科学分野	Ultrasound elastography-based assessment of the elasticity of the supraspinatus muscle and tendon during muscle contraction.	J Shoulder Elbow Surg・24・1・120・126・2014
373	笹原 洋二	小児病態学分野	Unilateral phrenic nerve palsy: a rare manifestation of vincristine neurotoxicity.	Indian J Pediatr・81・9・957・958・2014
374	海野 倫明	消化器外科学分野	Usefulness of alternate-day administration of S-1 and leucovorin in a xenograft mouse model of colorectal cancer: a shorter drug-free interval leads to more efficient antitumor effects.	Int J Clin Oncol・20・1・117・125・2014
375	富永 悌二	脳神経外科	Usefulness of laser speckle flowgraphy for the assessment of ocular blood flow in extracranial-intracranial bypass	J Stroke Cerebrovasc Dis・23・10・445・448・2014
376	中澤 徹	眼科学分野	Usefulness of novel laser speckle flowgraphy-derived variables of the large vessel area in the optic nerve head in normal tension glaucoma.	Clin Experiment Ophthalmol・42・9・887・889・2014
377	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Variants in the interferon regulatory factor-2 gene are not associated with pancreatitis in Japan.	Pancreas・43・7・1125・1126・2014
378	下川 宏明	循環器内科学	Vascular function.	Arterioscler Thromb Vasc Biol・34・11・2359・2362・2014
379	井樋 栄二	整形外科科学分野	Venous thromboembolism after elective shoulder surgery: a prospective cohort study of 175 patients.	J Shoulder Elbow Surg・23・5・605・612・2014

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
380	下川 宏明	循環器内科学	Ventricular fibrillation mechanisms and cardiac restitutions: An investigation by simulation study on whole-heart model.	Comput Biol Med・63・261・268・2014
381	下川 宏明	循環器内科学	Visualization of Complete Regression of Pulmonary Arterial Remodeling on Optical Coherence Tomography in a Patient With Pulmonary Arterial Hypertension.	Circ J・78・11・2771・2773・2014
382	森 士朗	歯科顎口腔外科	Visualization of fluid drainage pathways in lymphatic vessels and lymph nodes using a mouse model to test a lymphatic drug delivery system	Biomed Opt Express・6・1・124・134・2015
383	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Vitamin d receptor-mediated stromal reprogramming suppresses pancreatitis and enhances pancreatic cancer therapy.	Cell・159・1・80・93・2014
384	長谷川 隆文	神経内科	VPS35 dysfunction impairs lysosomal degradation of alpha-synuclein and exacerbates neurotoxicity in a Drosophila model of Parkinson's disease.	Neurobiol Dis・71・1・13・2014
385	阿部 喜子	総合地域医療教育支援部	Water supply facility damage and water resource operation at disaster base hospitals in miyagi prefecture in the wake of the Great East Japan Earthquake.	Prehospital and Disaster Medicine・30・2・193・198・2015
386	相場 節也	皮膚科学分野	Human adipose tissue possesses a unique population of pluripotent stem cells with nontumorigenic and low telomerase activities: potential implications in regenerative medicine.	Stem Cells Dev・23・7・717・728・2014
387	相場 節也	皮膚科学分野	Infantile cellular schwannoma developing on the skin with atypical clinical features.	Case Rep Dermatol・6・2・185・188・2014
388	相場 節也	皮膚科学分野	Keratoacanthoma accompanied by multiple lung squamous cell carcinomas developing in a renal transplant recipient.	Case Rep Dermatol・6・2・169・175・2014
389	相場 節也	皮膚科学分野	Successful Treatment of Eccrine Porocarcinoma Metastasized to a Cervical Lymph Node with CyberKnife Radiosurgery.	Case Rep Dermatol・6・2・159・163・2014

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
390	相場 節也	皮膚科学分野	Dermoscopy findings of hidroacanthoma simplex.	Case Rep Dermatol・6・2・154・158・2014
391	相場 節也	皮膚科学分野	Immunosuppressive and cytotoxic cells in invasive vs. non-invasive Bowen's disease.	Acta Derm Venereol・94・3・337・339・2014
392	相場 節也	皮膚科学分野	A case of ophiasis type of alopecia areata in a patient with ring chromosome 18 syndrome.	J Dermatol・41・6・559・560・2014
393	相場 節也	皮膚科学分野	Skin sensitization risk assessment model using artificial neural network analysis of data from multiple in vitro assays.	Toxicol In Vitro・28・4・626・639・2014
394	相場 節也	皮膚科学分野	Painful macules of hand cholesterol crystal embolization successfully treated with oral corticosteroid, statin, and sarpogrelate.	J Dermatol・41・7・662・664・2014
395	相場 節也	皮膚科学分野	Nonmetal haptens induce ATP release from keratinocytes through opening of pannexin hemichannels by reactive oxygen species.	J Invest Dermatol・134・7・1951・1960・2014
396	相場 節也	皮膚科学分野	Effects on asthma and induction of interleukin-8 caused by Asian dust particles collected in western Japan.	J Asthma・51・6・595・602・2014
397	相場 節也	皮膚科学分野	Evaluation of the Multi-ImmunoTox Assay composed of 3 human cytokine reporter cells by examining immunological effects of drugs.	Toxicol In Vitro・28・5・759・768・2014
398	相場 節也	皮膚科学分野	Successful Treatment of Two Cases of Squamous Cell Carcinoma on the Ear with Intra-Arterial Administration of Peplomycin through a Superficial Temporal Artery.	Case Rep Dermatol・6・3・207・212・2014
399	相場 節也	皮膚科学分野	Expression of steroidogenic enzymes in human sebaceous glands.	J Endocrinol・222・3・301・312・2014

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
400	相場 節也	皮膚科学分野	Successful treatment of adult onset Langerhans cell histiocytosis with bi-weekly administration of pegylated interferon-alpha.	Acta Derm Venereol・94・5・611・612・2014
401	相場 節也	皮膚科学分野	Steroidogenic enzymes, their related transcription factors and nuclear receptors in human sebaceous glands under normal and pathological conditions.	J Steroid Biochem Mol Biol・144 Pt B・268・279・2014
402	相場 節也	皮膚科学分野	Alarmin function of cathelicidin antimicrobial peptide LL37 through IL-36gamma induction in human epidermal keratinocytes.	J Immunol・193・10・5140・5148・2014
403	相場 節也	皮膚科学分野	Comparison of CD163+ Macrophages and CD206+ Cells in Lesional Skin of CD30+ Lymphoproliferative Disorders of Lymphomatoid Papulosis and Primary Cutaneous Anaplastic Large-cell Lymphoma.	Acta Derm Venereol・95・5・600・602・2014
404	相場 節也	皮膚科学分野	Isolated collagenoma developing on the scalp.	Eur J Dermatol・24・6・704・706・2014
405	相場 節也	皮膚科学分野	Acquired Idiopathic Generalized Anhidrosis: An Immunohistopathological Investigation of Peri-glands Infiltrated with Immunoreactive Cells.	Acta Derm Venereol・2014
406	相場 節也	皮膚科学分野	Merkel Cell Carcinoma Concomitant with Invasive Bowen's Disease: Immunohistochemical Investigation of Tumor-Infiltrating Leukocytes.	Case Rep Dermatol・7・1・1・6・2015
407	相場 節也	皮膚科学分野	Therapeutic concentration of lithium stimulates complement C3 production in dendritic cells and microglia via GSK-3 inhibition.	Glia・63・2・257・270・2015
408	相場 節也	皮膚科学分野	Retrospective Evaluation of Conservative Treatment for 140 Ingrown Toenails with a Novel Taping Procedure.	Acta Derm Venereol・2015
409	相場 節也	皮膚科学分野	Comparison of CD163+ CD206+ M2 macrophages in the lesional skin of bullous pemphigoid and pemphigus vulgaris: the possible pathogenesis of bullous pemphigoid.	Dermatology・229・4・369・378・2014

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
410	藤村 卓	皮膚科学分野	Immunohistochemical Similarities between Lichen Sclerosus et Atrophicus and Morphea: A Case Study.	Case Rep Dermatol・7・1・39・45・2015
411	埜 総司	咬合回復科	Influence of the maxillary obturator prostheses on facial morphology of patients with unilateral maxillary defect	Journal of Prosthetic dentistry・113・1・62・70・2015

合計 411

(注 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。

3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	下瀬川 徹	消化器病態学分野	[A case of previous infection with schistosomiasis japonica diagnosed holistically on the basis of various clinical examination findings].	Nihon Shokakibyō Gakkai Zasshi・111・5・948・955・2014
2	下瀬川 徹	消化器病態学分野	[Determinant-based classification of acute pancreatitis severity: an international multidisciplinary consultation: the 2013 Chinese edition].	Zhonghua Wai Ke Za Zhi・52・5・321・324・2014
3	下瀬川 徹	消化器病態学分野	[International multidisciplinary classification of acute pancreatitis severity: the 2013 Spanish edition].	Med Intensiva・38・4・211・217・2014
4	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野	[Nationwide surveillance of parenteral antibiotics containing meropenem activities against clinically isolated strains in 2012].	Jpn J Antibiot・67・2・73・107・2014
5	井樋 栄二	整形外科学分野	[Osteosarcoma: ADM+CDDP therapy].	Nihon Rinsho・73・Suppl 2・653・656・2015
6	館 正弘	形成外科学分野	「褥瘡専門訪問看護・指導料に関連した調査」結果報告	日本創傷・オストミー・失禁管理学会誌・18・1・47・53・2014
7	海野 倫明	消化器外科学分野	【Borderline resectable膵癌-術前診断と治療方針の将来展望-】 Borderline Resectable(BR)膵癌に対する治療戦略 NCCN定義の再考と術前GS療法の意義	癌の臨床・60・3・273・280・2014
8	館 正弘	形成外科学分野	【適切なトリアージと処置に活かす足病変の診断とフットケアの実際】下肢感染症の評価と栄養管理	WOC Nursing・2・11・58・65・2014
9	佐々木英之	小児外科	【わが国の小児外科五十年のあゆみ】胆道閉鎖症の手術と遠隔期の問題点	日本外科学会雑誌・115・6・317・322・2014

計 9

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
10	齋木 佳克	心臓血管外科学分野	【各臓器の悪性腫瘍の発生(調査)】本邦における心臓移植後の悪性腫瘍発症の現況と今後の課題	移植・49・42099・343・347・2014
11	下瀬川 徹	消化器病態学分野	【急性膵炎の診断と治療:新しい動向】我が国の急性膵炎の予後 全国調査から	膵臓・29・2・151・156・2014
12	下川 宏明	循環器内科学	【虚血性心疾患up to date-内科医によるトータルマネジメント】近未来に向けて 冠動脈治療の将来 低出力体外衝撃波治療	Medicina・51・4・713・716・2014
13	下川 宏明	循環器内科学	【最新臨床脳卒中[上]-最新の診断と治療-】危険因子 高血圧症 関連分子 一酸化窒素と内皮由来過分極因子	日本臨床・72・198・202・2014
14	下川 宏明	循環器内科学	【災害時の循環器疾患対応】災害と心不全	心臓・46・5・550・555・2014
15	下川 宏明	循環器内科学	【心臓リハビリテーションNow:包括的リハビリテーションと疾病管理プログラムを識る】識る 運動療法のpleiotropic effect 分子生物学的機序	Heart View・18・5・498・502・2014
16	下川 宏明	循環器内科学	【心脈管作動物質研究の最前線】NO合成酵素完全欠損マウスから得られた教訓 心血管病の成因におけるNO合成酵素の意義	日本薬理学雑誌・143・5・226・231・2014
17	下川 宏明	循環器内科学	【性差医療 その概念と実践】(Part01)性差医療の歴史と循環器疾患の性差	Credentials・70・6・9・2014
18	海野 倫明	消化器外科学分野	【胆道癌外科治療の現況】肝門部胆管癌の外科治療の現況 特に術式選択と血管合併切除術に関して	日本外科学会雑誌・115・4・181・184・2014
19	張替 秀郎	血液・免疫病学分野	【特集】自己免疫性血液疾患:診断と治療の進歩 自己免疫性血液疾患	日本内科学会雑誌・103・7・1609・1612・2014
20	近藤 泰輝	消化器内科	2014年の宮城県におけるA型肝炎の増加とカキ出荷量の動向	肝臓・55・Suppl.3・A846・A846・2014

計 11

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
21	海野 倫明	消化器外科学分野	5度の肝転移再発に繰り返し肝切除を行うことで長期生存を得た小腸GIST同時性巨大肝転移の1例	臨床外科・69・5・597・603・2014
22	張替 秀郎	血液・免疫病学分野	ABO血液型マイナーミスマッチ同種造血幹細胞移植後の抗A,抗B抗体価の推移	日本輸血細胞治療学会誌・60・2・177・2014
23	今井 啓道	形成外科学分野	Acute Rejection of Knee Joint Articular Cartilage in a Rat Composite Tissue Allotransplantation Model	The Journal of Bone and Joint Surgery・96・12・1033・1039・2014
24	近藤 泰輝	消化器内科	B型肝炎の新展開 慢性肝炎の進展、ETV-IFN療法効果に寄与するウイルス因子と宿主因子の関係	肝臓・55・Suppl.3・A729・A729・2014
25	近藤 泰輝	消化器内科	B型肝炎の進展、発癌、ETV/IFN Sequential療法効果に影響を与える因子の同定	肝臓・55・Suppl.2・A597・A597・2014
26	近藤 泰輝	消化器内科	CX3CL1-CX3CR1 axisはB型肝炎、肝癌の免疫病態に影響を与える	肝臓・55・Suppl.1・A259・A259・2014
27	近藤 泰輝	消化器内科	C型肝炎 3剤併用療法のOverview 肝硬変症例、DAA併用治療における1(OH)VitD3補充療法の効果	肝臓・55・Suppl.3・A740・A740・2014
28	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Helicobacter pylori除菌後胃癌発見のためのpit fall 胃酸分泌領域の変化からみたHelicobacter pylori除菌後胃癌の特徴	Helicobacter Research・18・2・102・108・2014
29	廣田 衛久	消化器内科	ICDC, JPS2011を見据えた自己免疫性膵炎診断のアルゴリズム	膵臓・2015
30	小澤 洋平	食道・消化器外科	Long-segment Barrett 食道を背景としたBarrett食道腺癌2病変と食道胃接合部腺癌が認められた若年男性の1切除例	日本消化器外科学会雑誌・47・3・173・181・2014
31	下瀬川 徹	消化器病態学分野	miR-365によるアポトーシス関連分子の発現制御	膵臓・29・3・607・607・2014

計 11

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
32	近藤 泰輝	消化器内科	NAFLD/NASHの新展開 非アルコール性脂肪性肝炎患者における低糖質食事療法介入と免疫能解析	肝臓・55・Suppl.3・A712・A712・2014
33	下川 宏明	循環器内科学	REVIEW & PREVIEW 大災害と心血管病	Medicina・51・6・1159・1163・2014
34	館 正弘	形成外科学分野	陥没型鼻篩骨骨折に対してHalo型上顎延長器を用いて治療した1例	日本形成外科学会会誌・34・4・265・270・2014
35	荒井 陽一	泌尿器科学分野	クッシング症候群・サブクリニカルクッシング症候群(外科医が診る副腎疾患)	日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌・31・3・171・174・2014
36	館 正弘	形成外科学分野	ケロイドに発生した悪性末梢神経鞘腫瘍の1例	日本形成外科学会会誌・34・7・526・533・2014
37	菊池 雅彦	総合歯科診療部	高齢歯科患者における口腔内カンジタ菌の検出に関連する要因 -第2報-	老年歯学・29・4・340・349・2015
38	館 正弘	形成外科学分野	固有示指伸筋腱欠損例の長母指伸筋腱断裂に対し短橈側手根伸筋腱による再建を施行した1例	日本形成外科学会会誌・35・1・19・23・2015
39	福原 規子	血液・免疫科	びまん性大細胞型B細胞リンパ腫におけるBACH2発現の臨床病理学的意義	血液内科 科学評論社・70・1・82・86・2015
40	張替 秀郎	血液・免疫病学分野	ヘム代謝と貧血	臨床血液・55・7・729・734・2014
41	館 正弘	形成外科学分野	放射線療法・顎部郭清部位における移植床血管の非侵襲的操作 hydrodissection法の有用性	頭頸部癌・40・2・166・2014
42	井樋 栄二	整形外科科学分野	圧潰を呈した大腿骨外側顆部骨嚢胞に対し大腿骨遠位内反骨切り術を行った1例	東北膝関節研究会会誌・23・9・12・2014

計 11

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
43	海野 倫明	消化器外科学分野	胃癌手術症例に対するcontrolling nutritional status法による術前栄養評価と術後合併症の評価	日本消化器外科学会雑誌・47・6・305・312・2014
44	菊池 雅彦	総合歯科診療部	印象採得時の開閉口状態が印象辺縁形態に及ぼす影響	東北大歯誌・33・81・90・2014
45	下瀬川 徹	消化器病態学分野	炎症性腸疾患の治療戦略 抗TNF α 抗体の効果が減弱した難治性クローン病に対する入院治療戦略と退院後の予後に関する検討	日本大腸肛門病学会雑誌・67・9・610・610・2014
46	海野 倫明	消化器外科学分野	家族性大腸腺腫症術後に発症し術前化学放射線療法が著効した肛門周囲膿瘍を伴った直腸癌の1例	外科・76・8・928・932・2014
47	張替 秀郎	血液・免疫病学分野	過去5年間に当院産科で施行された緊急または大量輸血症例の検討	日本輸血細胞治療学会誌・60・2・3・2014
48	館 正弘	形成外科学分野	回腸導管近傍の広範囲腹壁欠損創を有茎前外側大腿皮弁により再建した1例	形成外科・57・6・687・692・2014
49	荒田 悠太郎	卒後研修センター	学部教育における研究能力開発とMD研究者育成 東北大学医学部の試み	医学教育・45・Suppl.160・160・2014
50	下田 元	口腔外科学分野	顎口腔外科手術後の気道閉塞に対し緊急気管切開を施行した高齢患者の気道管理	日本蘇生学会雑誌・33・2・79・82・2014
51	今井 啓道	形成外科学分野	顎変形症に関連した新聞報道? 1994年~2013年の主要5紙を対象として?	日本顎変形症学会雑誌・24・4・298・304・2014
52	近藤 泰輝	消化器内科	肝癌におけるmicroRNA-29aおよびDNAメチル化制御を介したEMT誘導の新規機序	肝臓・55・Suppl.1・A228・A228・2014
53	近藤 泰輝	消化器内科	肝癌の予後改善に向けて 肝細胞癌に対する放射線治療、持続動注療法、ソラフェニブ治療の検討	肝臓・55・Suppl.3・A780・A780・2014

計 11

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
54	近藤 泰輝	消化器内科	肝細胞癌免疫病態におけるPD-L1+MDSCsの役割	肝臓・55・Suppl.1・A341・A341・2014
55	近藤 泰輝	消化器内科	肝疾患のゲノム・免疫研究を治療に繋ぐ 免疫システム攪乱によるHCV関連自己免疫疾患の発症機序	肝臓・55・Suppl.3・A750・A750・2014
56	下瀬川 徹	消化器病態学分野	肝腎症候群の機序と病態	日本腎臓学会誌・56・3・237・237・2014
57	藤井 博司	血液・免疫病学分野	関節リウマチ患者に併発するメトキサート関連リンパ増殖性疾患	血液内科・68・4・500・504・2014
58	近藤 泰輝	消化器内科	急性肝炎のUp to date 仙台市におけるB型急性肝炎のgenotypeの推移およびgenotype毎の特徴の解析	肝臓・55・Suppl.3・A760・A760・2014
59	近藤 泰輝	消化器内科	急性肝不全の内科的治療と肝移植のup to date 急性肝不全の予後に影響を与える因子の解析	肝臓・55・Suppl.3・A744・A744・2014
60	下田 元	口腔外科学分野	胸部大動脈瘤手術待機患者に対する口腔外科治療中の血圧管理	臨床麻酔・38・8・1211・1213・2014
61	下瀬川 徹	消化器病態学分野	血漿中マイクロRNA発現解析の膵癌診断に対する有用性の検討	膵臓・29・3・611・611・2014
62	近藤 泰輝	消化器内科	高度線維化症例におけるビタミンD補充療法の意義	肝臓・55・Suppl.2・A646・A646・2014
63	井樋 栄二	整形外科学分野	骨巨細胞腫に対する人工膝関節置換術後に発生した膝蓋骨骨折の1例	東北膝関節研究会会誌・23・1・4・2014
64	中野 徹	移植・再建・内視鏡外科	根治的放射線化学療法後に胸腔鏡下リンパ節郭清術を行った食道癌の3例	日本内視鏡外科学会雑誌・19・4・465・470・2014

計 11

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
65	山本 照子	顎口腔矯正学分野	左右非対称な抜歯を伴う矯正歯科治療における歯科矯正用アンカースクリューの有用性	東北大学歯学雑誌・33・1・7・15・2014
66	井樋 栄二	整形外科学分野	最近10年間の当科におけるLuque SSI法の経験	東北整形災害外科学会雑誌・57・1・15・19・2014
67	下川 宏明	循環器内科学	脂質代謝異常症への多角的アプローチ 東日本大震災後の精神的ストレスによる冠動脈狭窄性狭心症活動度の変化 末梢血白血球Rhoキナーゼ活性に基づく検討	The Lipid・25・3・305・310・2014
68	小山重人	顎顔面口腔再建治療部	試作エpiteーゼ用シリコン材料の引張り応力に対する永久歪みに関する研究	顎顔面補綴・37・1・15・19・2014
69	山本 照子	顎口腔矯正学分野	歯科矯正用アンカースクリューを固定源とする矯正歯科治療-骨形態計測学的解析を中心に- Bone histomorphometric analysis of orthodontic treatment using miniscrews for anchorage	北海道矯正歯科学会誌・584・39・44・2014
70	下瀬川 徹	消化器病態学分野	次世代シークエンサーを用いた膵炎患者におけるカルシウム感受容体遺伝子変異の解析	膵臓・29・3・643・643・2014
71	近藤 泰輝	消化器内科	集学的な薬物療法のみで改善を認めた重症肝不全を呈したWilson病の2例	肝臓・55・Suppl.3・A793・A793・2014
72	下瀬川 徹	消化器病態学分野	重症急性膵炎における血液浄化療法の実態と有効性について	膵臓・29・3・564・564・2014
73	工藤 博典	小児外科	小児移植医療-小腸移植	移植・49・23・215・223・2014
74	菊池 雅彦	総合歯科診療部	上皮?間葉細胞間相互作用による培養ヒトマラッセの上皮遺残細胞の細胞増殖とアポトーシス	日歯保存誌・57・421・428・2014
75	中野 徹	食道・消化器外科	食道癌肉腫7症例の臨床病理学的検討	日本臨床外科学会雑誌・7・5・1169・1174・2014

計 11

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
76	下川 宏明	循環器内科学	心臓リハビリテーションの医療職卒前・卒後教育の現状と課題 心臓リハビリテーション卒前・卒後教育に関するアンケート調査結果と東北大学の現状	心臓リハビリテーション・19・2・219・220・2014
77	近藤 泰輝	消化器内科	診断に苦慮し各種検査から総合的に診断した日本住血吸虫症感染既往の1例	日本消化器病学会雑誌・111・5・948・955・2014
78	張替 秀郎	血液・免疫病学分野	赤血球造血の基礎	日本検査血液学会雑誌・15・3・2014
79	下瀬川 徹	消化器病態学分野	全国調査からみた急性膵炎における耐糖能障害	消化と吸収・36・2・253・256・2014
80	下瀬川 徹	消化器病態学分野	全国調査から見た慢性膵炎患者における栄養状態の実態	膵臓・29・3・605・605・2014
81	下瀬川 徹	消化器病態学分野	早期慢性膵炎の現状 慢性膵炎全国調査2011の結果より	膵臓・29・3・473・473・2014
82	佐藤 尚明	産科	胎児機能評価の最前線 ?母体腹壁誘導胎児心電図?	日本周産期・新生児医学会雑誌・50・1・50・53・2014
83	佐藤 尚明	産科	胎児心電図によるドプラ分娩監視装置の精度の検証	東北医学雑誌・126・1・58・59・2014
84	下田 元	口腔外科学分野	大動脈瘤(解離)手術待機症例の顎口腔外科外来周術期血圧管理に関する臨床的評価	東北大学歯学雑誌・33・2・91・97・2014
85	海野 倫明	消化器外科学分野	胆道専門医講座 胆道癌の外科治療 最新の治療成績(第2回) 中下部胆管癌 中下部胆管癌の外科治療	胆道・28・2・249・253・2014
86	仁尾 正記	小児外科	胆道閉鎖症	日本小児外科学会雑誌・50・210・212・2014

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
87	海野 倫明	消化器外科学分野	腸閉塞で発症した回腸子宮内膜症の1例	外科・76・5・555・558・2014
88	下川 宏明	循環器内科学	超高齢社会で増加する石灰化大動脈弁狭窄症に対して経皮的な大動脈弁形成術を行った症例	日本老年医学会雑誌・51・3・283・283・2014
89	近藤 泰輝	消化器内科	超保存領域から転写されるlong non-coding RNAの肝細胞癌における発現と機能解析	肝臓・55・Suppl.2・A601・A601・2014
90	山本 照子	顎口腔矯正学分野	東北大学矯正歯科における長期咬合管理について	東北矯正歯科雑誌・22・1・51・55・2014
91	小山重人	顎顔面口腔再建治療部	東北大学病院・歯科インプラントセンターにおけるインプラント研修プログラム開発に向けたアンケート調査	みちのく歯学会雑誌・44・46・47・2014
92	佐藤奈央子	顎顔面口腔再建治療部	東北大学病院顎口腔再建治療部で対応した頭頸部領域腫瘍、先天性疾患、ならびに外傷を有する患者の実態調査	顎顔面補綴・37・2・10・13・2014
93	井樋 栄二	整形外科学分野	当院におけるMIS用脛骨コンポーネントを用いたTKAの治療成績	JOSKAS・39・2・300・301・2014
94	近藤 泰輝	消化器内科	当院における進行肝細胞癌に対する治療解析	肝臓・55・Suppl.2・A615・A615・2014
95	田中 淳一	総合地域医療教育支援部	当院における生物学的製剤治療と合併症について	中部リウマチ・44・1・1・3・2014
96	野上 晋之介	顎顔面外科学分野	当科におけるインプラント脱落、除去症例の臨床的検討	東北歯誌・33・16・21・2014
97	近藤 泰輝	消化器内科	当科における高齢発症自己免疫性肝炎の現状	肝臓・55・Suppl.2・A677・A677・2014

計 11

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
98	近藤 泰輝	消化器内科	当科における非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)患者の免疫学的検討	肝臓・55・Suppl.1・A366・A366・2014
99	近藤 泰輝	消化器内科	当科における非ウイルス性肝疾患におけるファイブロスキャン有用性の検討	肝臓・55・Suppl.3・A798・A798・2014
100	野上 晋之介	顎顔面外科学分野	糖尿病患者のインプラント周囲炎が蜂窩織炎をきたし気管切開術を施行した1例	九州歯科学会雑誌・68・2・23・28・2014
101	廣田 衛久	消化器内科	日本の急性膵炎診療:全国調査2011より	膵臓・2015
102	荒井 陽一	泌尿器科学分野	尿管結紮により巨大水腎症を合併し術前診断が困難であった上部尿路上皮癌の1例	泌尿紀要・60・3・137・141・2014
103	下瀬川 徹	消化器病態学分野	被災地医療体験実習に参加した医学生の追跡調査	医学教育・45・Suppl.・113・113・2014
104	近藤 泰輝	消化器内科	非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)患者およびNASHモデルマウスにおける免疫学的検討	肝臓・55・Suppl.2・A622・A622・2014
105	柏館 俊明	移植外科	腹腔鏡下胆嚢摘出術後に癒着性イレウスを発症した腸回転異常の1例	日本臨床外科学会雑誌・75・4・1038・1042・2014
106	日景 允	食道・消化器外科	腹腔鏡下低位前方切除後左骨盤腔に生じた腹膜欠損部からの小腸脱出の1例	日本臨床外科学会雑誌・75・6・1593・1596・2014
107	藤尾 淳	移植外科	腹腔内出血により発見された壁外有茎性発育した胃gastrointestinal stromal tumorの1例	外科・77・5・573・577・2015
108	館 正弘	形成外科学分野	腹部領域における陰圧閉鎖療法	PEPARS・97・55・62・2015

計 11

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
109	下川 宏明	循環器内科学	慢性血栓塞栓性肺高血圧症における Thrombin Activated Fibrinolysis Inhibitor の関与	心臓・46・7・985・ 985・2014
110	下川 宏明	循環器内科学	慢性心不全における脳の構造・機能に関 する臨床研究(B-HeFT)	日本老年医学会雑 誌・51・Suppl.・147・ 148・2014
111	下瀬川 徹	消化器病態学分野	慢性膵炎に対する膵管ステントの臨床効果 の検討 全国多施設共同調査(中間報告)	膵臓・29・3・605・ 605・2014
112	井樋 栄二	整形外科学分野	両側大腿骨頸部骨折をきたした家族性 Fanconi症候群の1例	東北整形災害外科 学会雑誌・57・1・ 89・92・2014
113	下瀬川 徹	消化器病態学分野	臨床研究中核病院からの報告 東北発の 医療機器開発拠点	臨床評価・42・ Suppl.XXXIII・213・ 217・2014
114	下瀬川 徹	消化器病態学分野	疼痛を有する慢性膵炎に対する成分栄養 剤(エンタール配合内用剤)に臨床的有用 性に関する研究 全国多施設調査症例に おける成因別解析	栄養-評価と治療・ 31・3・245・252・ 2014
115	下瀬川 徹	消化器病態学分野	膵に発生した明細胞腫瘍の1例	膵臓・29・3・654・ 654・2014
116	下瀬川 徹	消化器病態学分野	膵炎局所合併症(膵仮性嚢胞、感染性被包 化壊死等)に対する診断・治療コンセンサス	膵臓・29・5・777・ 818・2014
117	下瀬川 徹	消化器病態学分野	膵癌診療におけるDUPAN-2の有用性 予 後との関連から	膵臓・29・3・640・ 640・2014
118	下瀬川 徹	消化器病態学分野	膵石症の内視鏡治療ガイドライン2014	膵臓・29・2・121・ 148・2014
119	館 正弘	形成外科学分野	褥瘡の保存的治療と外科的治療	PEPARS・88・79・ 87・2014

合計 119

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有 無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有 無
・ 手順書の主な内容 主に倫理委員会の体制や申請の要件、倫理委員会審査まで流れ、申請手続き、様式一覧、その他留意すべき事項など	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年11回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有 無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有 無
・ 規定の主な内容 東北大学利益相反マネジメントポリシーに基づき、役職員が産学官連携活動その他の社会貢献活動を行う上での利益相反を適正に管理するために必要な事項を定めることにより、本学の社会後年の推進を図ることを目的とする。 「利益相反マネジメント推進体制」、「利益相反マネジメントの実施方法」	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年11回

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年6回
・ 研修の主な内容 「倫理委員会への倫理申請の注意点」「研究倫理の基本と重要課題」等。	

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

当院の研修では、各領域の多数の専門医・指導医の指導の下、また多くの高度医療設備の下、将来の専門医・指導医資格の取得を前提とした高度な医療の習得を行っています。高度医療機関として稀少症例、難症例を経験するのみならず、関連病院とも連携し各領域の多様な症例を経験することにより、全人的な診療能力を持つ専門医を養成することが可能です。また大学院で学位を併行して取得することも可能であり、研究医として社会に貢献することも可能です。

当院では、平成29年度からスタートする新専門医制度による専門医研修に向け、19の全ての基本領域において専門研修プログラムを整備しています。新専門医制度に関しては、現在初期臨床研修1年目以降の医師が対象となりますが、当院は全領域で基幹施設としてプログラムを整備する予定です。皆様が初期臨床研修終了後、当院の専門研修プログラムを修了すれば、各基本領域の専門医資格試験を受験することが可能です。また、当院の専門研修プログラムでは、本院のみならず多くの関連病院にご協力いただき、各人の希望やニーズを考慮し各人毎に最適なプログラムでの研修を行えるよう整備しています。

2 研修の実績

研修医の人数	60.33人
--------	--------

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
阿部 倫明	内科 (総合診療外来)	准教授	21	
下川 宏明	循環器内科	教授	36	
具 芳明	感染症内科	講師	18	
伊藤 貞嘉	腎臓・内分泌内科	教授	36	
張替 秀郎	血液内科	教授	29	
石井 智徳	リウマチ科	特任教授	27	
片桐 秀樹	糖尿病・代謝内科	教授	28	
廣田 衛久	消化器内科	院内講師	21	
沖永 壮治	老年内科	准教授	24	
高山 真	漢方内科	准教授	19	
庄司 知隆	心療内科	助教	23	
玉田 勉	呼吸器内科	講師	21	
石岡千加史	腫瘍内科	教授	32	

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
海野 倫明	肝臓・胆のう・膵臓外科	教授	30	
海野 倫明	胃腸外科	教授	30	
亀井 尚	移植・食道・血管外科	准教授	24	
石田 孝宣	乳腺・内分泌外科	准教授	28	
齋木 佳克	心臓血管外科	教授	25	
相澤 俊峰	整形外科	講師	26	
館 正弘	形成外科	教授	30	
岡田 克典	呼吸器外科	教授	27	
山内 正憲	麻酔科	教授	25	
八重樫伸生	産婦人科	教授	32	
伊藤 明宏	泌尿器科	准教授	25	
青木 正志	神経内科	教授	23	
岩崎 真樹	脳神経外科	講師	18	
中里 信和	てんかん科	教授	31	
松岡 洋夫	精神科	教授	37	
坂本 修	小児科	准教授	24	
和田 基	小児外科	准教授	22	
和田 基	小児腫瘍外科	准教授	22	
菊地 克子	皮膚科	講師	27	
國方 彦志	眼科	准教授	18	
香取 幸夫	耳鼻咽喉科	教授	25	
香取 幸夫	頭頸部外科	教授	25	
出江 紳一	肢体不自由リハビリテーション科	教授	31	
上月 正博	内部障害リハビリテーション科	教授	34	
神宮 啓一	放射線治療科	教授	13	

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
高瀬 圭	放射線診断科	教授	26	
瀧 靖之	加齢核医学科	教授	16	
工藤 大介	救急科	助教	13	
渡辺 みか	病理診断科	准教授	25	
笹野 高嗣	歯科(口腔診断科)	教授	36	
城戸 幹太	歯科 (歯科麻酔疼痛管理科)	助教	20	
小林 洋子	歯科(保存修復科)	助教	26	
奥山 弥生	歯科(咬合修復科)	助教	33	
佐々木啓一	歯科(咬合回復科)	教授	34	
根本 英二	歯科(歯周病科)	准教授	26	
菊地 雅彦	歯科 (総合歯科診療部)	教授	32	
遠藤 英昭	歯科 (感染予防対策治療部)	助教	36	
高橋 哲	歯科口腔外科 (歯科顎口腔外科)	教授	25	
福本 敏	小児歯科	教授	21	
山本 照子	矯正歯科	教授	40	
五十嵐 薫	矯咬合機能成育室	教授	31	
五十嵐 薫	顎口腔機能治療部	教授	31	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

看護実践を担う看護職員のキャリア開発やジェネラリストとしての看護実践能力向上のために、「看護実践能力（クリニカルラダー）」システムを導入し、看護実践、看護管理、教育

・研究、人間形成の4領域と4段階の熟達レベルで教育プログラムを組んでいる。

・研修の期間・実施回数：平成26年4月～平成27年3月 期間中53回開催

・研修の参加人数：期間中延べ 3, 273人

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

看護師長や副看護師長を対象に、看護管理者が人を育成しながら、組織運営に係わる資質向のため、「看護実践の組織化能力（マネジメントラダー）」システムを導入し、目標管理、人間関係能力、看護の質評価・改善、教育・研究、倫理の5項目について、職位別の教育プログラムを組んでいる。

・研修の期間・実施回数：平成26年6月～平成26年12月 期間中8回開催

・研修の参加人数：延べ 459人

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

・研修の主な内容

・研修の期間・実施回数

・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 (2) 現状
管理責任者氏名	病院長 八重樫 伸生
管理担当者氏名	総務課長 志茂 弘明 ・ 医事課長 須田 仁

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		総務課 医事課 医療情報室 各診療科 薬剤部	診療記録（手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真等を含む）は、平成26年4月より電子カルテを原本とし、記載及びスキャン取込を行い管理している。紙媒体の診療記録は患者毎にファイリングし、ターミナルデジットファイリング法で一元管理を行っている。保管期間は、最終来院日より15年と定めている。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	患者数関係については、月毎に集計を行い電子媒体で管理している。調剤の枚数については、月毎に集計、紙・電子媒体で管理している。高度の医療の実績関係については、診療科・総務課等からデータをもらい、年度毎に一覧を作成し、紙・電子媒体で管理している。その他については、各部署で月毎や年度毎に管理している。
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課 及び医事課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 及び薬剤部	
第規一則号第に一掲条のる十体一制第一確項保各の号状及び第九条の二十第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医事課	年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医事課	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医事課	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医事課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医事課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医事課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	医事課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医事課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医事課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医事課
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医薬品安全管理室
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医薬品安全管理室
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医薬品安全管理室
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医薬品安全管理室
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療機器安全管理室
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療機器安全管理室
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器安全管理室
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療機器安全管理室		

年度毎に整理し紙媒体にてファイル保存している。

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状	
閲覧責任者氏名	病院長	八重樫 伸生	
閲覧担当者氏名	総務課長	志茂 弘明	医事課長 須田 仁
閲覧の求めに応じる場所	会議室		
閲覧の手続の概要 閲覧については、諸記録毎の管理部署が担当窓口となり、請求手続きに応じている。			

(注) 既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第 6)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">● 院内における安全管理に関する基本的な考え方● 安全管理のための委員会、その他組織に関する基本的事項● 医療に係る安全管理のための従業者に対する研修に関する基本関係● 院内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針● 医療事故発生時の対応に関する基本方針● 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針● 患者からの相談への対応に関する基本方針● その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 医療に関する安全管理指針に関すること。(2) 医療の安全管理体制の確保に関すること。(3) 医療事故等の防止対策の検討及び推進に関すること。(4) 医療の安全管理のための教育及び研修に関すること。(5) 発生した医療事故及び医事紛争への対応方法及び情報収集の方針に関すること。(6) 医薬品及び医療機器の安全管理に関すること。(7) その他医療の安全管理等に関すること。	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 2 2 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">● 医療に係る安全管理のための基本的考え方及び具体的方策について研修会（新規採用者対象オリエンテーション、中途採用者対象医療安全講習会）● 具体的事例を取り上げた職種横断的な演習（年 5 回）● 医療安全管理全般に関する定期講演会（年 2 回）● その他医療安全管理に関する研修会（随時）	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備（有・無）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">● 事故又はインシデント事例が発生した場合は直ちに院内インシデント報告制度に基づき医療安全管理部門へ報告すること。● 事故又はインシデント事例の報告を受けた安全管理部門は院内マニュアルに従い事例についての情報を収集、分析を行い、問題点を把握し改善策を検討すること。● 重大事例の発生時には院内マニュアルに従い速やかに管理者へ報告を行い、必要に応じて事故調査委員会を設置、原因の分析を行うと共に効果的な再発防止策を検討すること。	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有（3名）・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（3名）・無

⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任（ 4）名 兼任（25）名 ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> (1) 医療にかかる安全管理のための委員会で用いられる資料及び議事録の作成及び保存、その他の医療に係る安全管理のための委員会の庶務に関すること。 (2) 事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認を行うとともに、必要な指導を行うこと。 (3) 患者や家族への説明など事故発生時の対応状況について確認を行うとともに、必要な指導を行うこと。 (4) 事故等の原因究明が適切に実施されていることを確認するとともに、必要な指導を行うこと。 (5) 医療安全にかかる連絡調整に関すること。 (6) 医療安全対策の推進に関すること。 	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無

(様式第 6)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none">院内感染対策に関する基本的な考え方委員会等の組織に関する基本的事項職員研修に関する基本方針発生状況の報告に関する基本方針感染症発生時対応に関する基本方針指針の閲覧に関する基本方針その他の必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">● 院内感染対策のための委員会の管理及び運営に関する規程の整備を行うこと。● 重要な検討内容について、院内感染発生時及び発生が疑われる際の患者への対応状況を含め管理者へ報告すること。● 院内感染が発生した場合は、速やかに発生の原因を分析し、改善策の立案及び実施並びに従業者への周知を図ること。● 院内感染対策委員会で立案された改善策の実施状況を必要に応じて調査し、見直しを行うこと。	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 1 9 回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">● 院内感染対策のための基本的考え方及び具体的方策についての研修会（新規採用者対象オリエンテーション）● 院内感染管理に則した研修（感染対策病棟講習会、感染対策に関するDVD研修会）● 感染管理全般に関する定期講演会（年 6 回）● その他感染管理に関する研修会（随時）	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">「院内感染対策のための指針」に則した院内感染対策マニュアルの整備及び見直し。	

(様式第6)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	○有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年42回
・ 研修の主な内容： ● 医薬品の有効性・安全性に関する情報、使用方法に関する研修 ● 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書についての研修 ● 医薬品による副作用等が発生した場合の対応に関する研修	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	○有・無
・ 計画の策定 ・ 保守点検の主な内容： 院内で用いる医薬品の採用及び購入に関する業務 医薬品の管理に関する業務 患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する業務 患者に対する与薬	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	○有・無
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 ・ その他の改善のための方策の主な内容： 医薬品安全管理室が医療安全巡視を実施（年2回） 病棟又は外来診療科への巡視を薬剤師が月1回実施 医薬品添付文書改訂に伴う注意事項についての情報を通知	

(様式第6)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	○有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年37回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">○ 医療機器の有効性・安全性に関する研修○ 医療機器の使用法に関する研修○ 医療機器の保守点検に関する研修○ 医療機器の不具合等が生じた場合の対応に関する研修○ 医療機器の使用に関しての法令に関する研修	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 計画の策定 (○有・無)・ 保守点検の主な内容：<ul style="list-style-type: none">○ 始業点検・終業点検・日常点検・定期点検○ 施設内部点検○ 外部委託点検上記保守点検についての<ul style="list-style-type: none">① 実施状況、使用状況、修理状況、購入年の把握及び記録② 保守点検の実施状況の評価及び医療安全の観点からの保守点検計画の見直し	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (○有・無)・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">○ 添付文書等の管理○ 医療機器関連情報の病院管理者への報告○ 月1回の「医療機器点検の日」実施による機器の点検及び院内の意識啓発	

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 機関名：公益財団法人日本医療機能評価機構 時 期：平成27年2月	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 本院ホームページでは、利用者目線に立った内容やレイアウトの工夫を行い、本院の取り組みや、診療科スタッフの紹介、受診手続きについて掲載している。 また、併せて病院広報誌の観光や市民公開講座及び病院見学会を定期的で開催し、本院の様々な情報を地域の方々に発信している。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 本院ではがんセンターや小児医療センターなど、関連する複数の診療科からなる組織を設置し、患者に対し効率的かつ安全で高度な治療を行える診療体制を構築している。	